

厚沢部町

保存版

防災

ハザードマップ

避難場所一覧表 1

非常持出品・非常備蓄品 2

警戒レベルを用いた避難情報 3

防災情報の伝達と入手 4

防災気象情報① 5

防災気象情報② 6

わが家の防災対策 7

避難行動ガイド 8

洪水・浸水害について 9

土砂災害について 10

厚沢部町全体図 11・12

ハザードマップ(洪水・土砂) 13～42

津波対策について 43

地震対策について 44

ハザードマップ(津波) 45・46

厚沢部町ホームページ

<https://www.town.assabu.lg.jp/>



災害への備え①

災害の備え②

洪水・土砂

津波(地震)

指定緊急避難場所・指定避難所・福祉避難所一覧

指定避難所	指定緊急避難場所	福祉避難所	地区	施設名	所在地	電話番号	種別
○	○	—	美和	美和ふれあいセンター	美和241-2	67-2341	
○	○	—	富栄 緑町	富栄ふれあいセンター	富栄243-2	—	※1
○	○	—		緑町コミュニティセンター	緑町72-1	—	※1 ※2
○	○	—	本町 松園町 上の山 新町 赤沼町	厚沢部小学校	新町104	64-3042	※1 ※2 ※3
○	○	—		厚沢部中学校	新町250	64-3354	※1
○	○	—		山村開発センター	新町207	64-3311	※1
○	○	○		保健福祉総合センター	新町181-6	67-2310	※1
○	○	—		総合体育館	新町234-1	64-3436	※1
○	○	—		赤沼町ふれあいセンター	赤沼町86-2	67-2047	※1
○	○	—		まちなか交流センター	本町97	—	※1 ※2
○	○	—		認定こども園はぜる	赤沼町377-1	56-7310	
○	○	—	上里	上里ふれあい交流センター	上里92-1	64-3100	※1
○	○	—	滝野 稲見	滝野寿の家	滝野493	—	※1
○	○	—	清水	清水ふれあいセンター	清水60-1	—	※1
○	○	—	鶏	鶏ふれあいセンター	鶏469-1	—	※1
○	○	—	鶏町	旧鶏小学校	鶏町212-3	—	※1 ※2
○	○	—		鶏地区多目的研修センター	鶏町225-4	65-6778	
○	○	—		旧鶏中学校	鶏町369	—	
○	○	—		うずら温泉宿泊施設	鶏町853	65-6366	※1
○	○	—	相生 共和	相和ふれあいセンター	相生49-2	—	※1
○	○	—	木間内 旭丘 社の山 峠下	木間内ふれあいセンター	木間内213	—	※1
○	○	—	新栄	新栄ふれあいセンター	新栄729-2	—	※1
○	○	—	当路	当路ふれあいセンター	当路171-12	—	※1
○	○	—	南館町 館町 中館 城丘	館小学校	館町187-1	66-2230	※1 ※3
○	○	—		南館城丘ふれあいセンター	南館町6-2	—	※1
○	○	—		館地域振興センター	館町171	66-2238	※1 ※2
○	○	—	富里 須賀	富里ふれあいセンター	富里94-1	—	※1

※1 の付いている避難場所は、大雨等浸水の状況によって、安全な場所への二次避難が必要になる場合があります。二次避難先として、車中避難が実施できる浸水が想定されていない公共施設の駐車場または、道路等を候補地とします。
 ※2 の付いている避難場所は、大雨や長雨または地震の状況によって土砂災害のおそれがあるため、指定緊急避難場所として使用できません。
 ※3 の付いている避難場所は、大雨等浸水の状況によって、厚沢部小学校は3階以上、館小学校は2階以上の使用のみ可能になる場合があります。

洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設

施設名	所在地	備考
厚沢部小学校	新町104	厚沢部川・安野呂川
厚沢部中学校	新町250	安野呂川
館小学校	館町187-1	厚沢部川
国民健康保険病院	新町14-1	厚沢部川
ゆいま〜る厚沢部	新町115	厚沢部川・安野呂川
グループホーム巴新町	新町115	厚沢部川・安野呂川
グループホーム巴	滝野518-1	安野呂川

土砂災害(特別)警戒区域内の要配慮者利用施設

施設名	所在地	備考
館小学校	館町187-1	土砂災害警戒区域
ゆいま〜る厚沢部	新町115	土砂災害警戒区域
グループホーム巴新町	新町115	土砂災害警戒区域

災害の「備え」チェックリスト

非常用持出袋 避難の際に持ち出すもの!

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 食品
(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意!) <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット <input type="checkbox"/> 衣類・下着 <input type="checkbox"/> レインウェア <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴 <input type="checkbox"/> 懐中電灯(※手動充電式が便利) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(※手動充電式が便利) <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> 救急用品
(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など) <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ブランケット | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ペン・ノート |
|--|---|
-
- 感染症対策にも有効です!!**
- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 体温計 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 貴重品
(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど) <input type="checkbox"/> (持病のある方)持病の薬、お薬手帳 |
|--|---|
-
- 一緒に持ち出そう!!**

子供がいる家庭の備え

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ミルク(キューブタイプ) <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 子供用紙オムツ <input type="checkbox"/> お尻ふき <input type="checkbox"/> 携帯用お尻洗浄機 <input type="checkbox"/> ネックライト | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 抱っこひも <input type="checkbox"/> 子供の靴 |
|---|---|---|

女性の備え

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> おりものシート | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ <input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 防犯ブザー/ホイッスル |
|---|---|--|

高齢者がいる家庭の備え

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ <input type="checkbox"/> 杖 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入れ歯・入れ歯用洗浄剤 <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> 吸水パッド |
|--|---|--|

備蓄品

家庭に備えておくもの!

- 食料や水(最低3日分!出来れば1週間分)×家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能!
- 生活用品
例えば、ティッシュ、トイレトーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう。

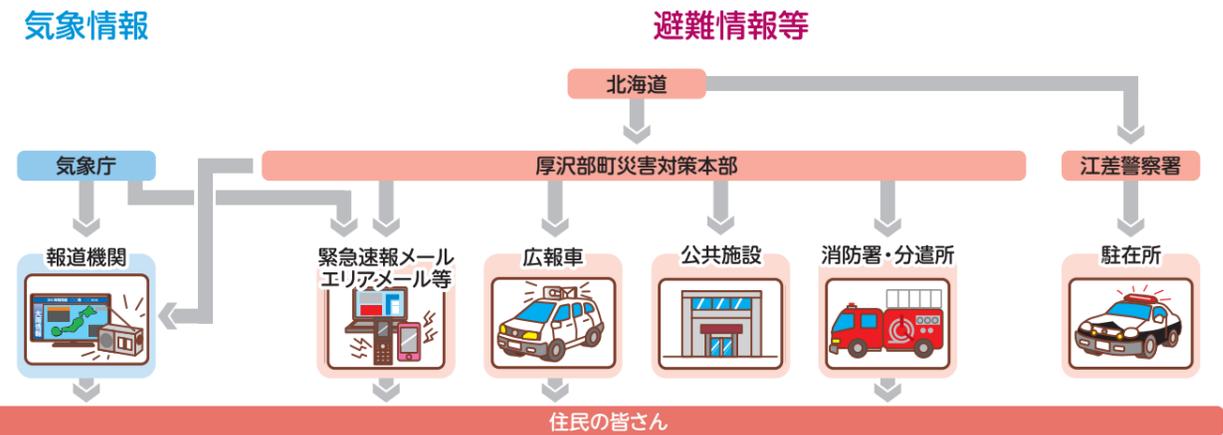
警戒レベルについて

警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、町や気象庁等が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)			
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)		
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)	
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~							
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4 相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3 相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報	
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報	2 相当	氾濫注意情報	———	
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 相当	———	———	

※町長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

## 防災情報の伝達



## 防災情報の入手

**厚沢部町の情報**

- 避難指示などの発令情報
- 避難所開設情報
- 各種災害情報

■ 厚沢部町ホームページ  
<https://www.town.assabu.lg.jp/>

■ 厚沢部町公式LINE  
<https://line.me/R/ti/p/%40233yhnnp>

**気象の情報**

- 気象情報・注意報
- 大雨・台風・洪水などの防災気象情報

■ 気象庁ホームページ  
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

**北海道の情報**

■ 北海道防災ポータルサイト  
<https://www.bousai-hokkaido.jp/?p=top&municipalityCd=01100>

**国の情報**

■ 北海道開発局防災情報ポータルサイト  
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/saigai/splaat0000001sq7.html>

## 特別警報

警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれ著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

### ●気象等に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により 暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により 高潮になると予想される場合
波浪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により 高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

※発表にあたっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標が設けられており、これらの実況および予想に基づいて気象庁が判断します。

### ●地震(地震動)・火山・津波に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準
地震(地震動)	震度6弱以上または長周期地震動階級4の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上または長周期地震動階級4)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)

※これらの特別警報は、名称に「特別警報」は用いず、従来どおりの名称で発表します。

### 特別警報が発表されたら

- ① 尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ② 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ③ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

## 雨の強さと降り方

雨量や雨の強さを表す用語が、どの程度の雨の降り方を表しているのかわかっておきましょう。

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方のイメージ	ザーザーと降る雨 	どしゃ降りの雨 	バケツをひっくり返したような雨 	滝のように降る雨 	息苦しくなるような圧迫感がある雨 
浸水害・洪水害の発生状況	この程度の雨でも長く続くと災害が発生するおそれがあるため注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれる	下水管から雨水があふれる	マンホールから水が噴出する	大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要
土砂災害の発生状況		小規模のがけ崩れが始まる	がけ崩れ、地すべりが起きやすい	土石流が起こりやすい	

## 台風の大きさと強さ

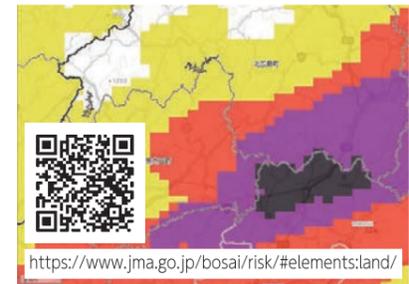
大きさ	風速 15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s(64ノット)以上44m/s(85ノット)未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い 猛烈な	44m/s(85ノット)以上54m/s(105ノット)未満 54m/s(105ノット)以上

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

## キキクル(危険度分布)

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

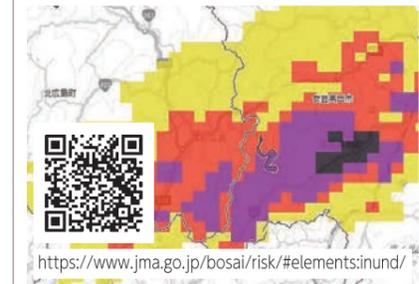
### 土砂キキクル 大雨警報(土砂災害)の危険度分布



紫：崖・渓流の近くは危険



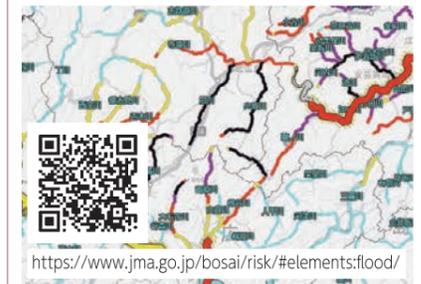
### 浸水キキクル 大雨警報(浸水害)の危険度分布



紫：低地は危険



### 洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元コードの読み取りができない場合があります。

## 土砂災害警戒情報

大雨警報の発表中に、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、北海道と気象台から共同で発表されます。

詳細な範囲については気象庁の「キキクル(危険度分布)」で確認できます。しかし、特に警戒区域周辺にお住まいの方は、実際の周囲の状況や雨の降り方にも注意し、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、危険を感じたら、迷わず自主避難を行いましょう。



## 記録的短時間大雨情報

大雨警報の発表中に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測されたときに、気象台から発表される情報です。

この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかを気象庁の「キキクル(危険度分布)」も合わせて確認してください。



## 顕著な大雨に関する気象情報

大雨による災害発生の危険度が高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。

この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。警戒レベル4相当以上の状況で気象庁から発表されます。顕著な大雨に関する情報が発表されていなくとも、広範囲で激しい雨が長時間継続するような場合には、甚大な災害が発生する場合があります。

顕著な大雨に関する情報を待つことなく、災害発生の危険度の高まりを示すキキクル(危険度分布)を活用いただくことが極めて重要です。

(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

## 家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

**1**  家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる  
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置くようにしましょう。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えを行いましょう。



**2**  寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない  
就寝中に地震に襲われると危険です。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性があります。



**3**  家具の転倒を防ぐ  
家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすくなります。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定しましょう。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全にしましょう。



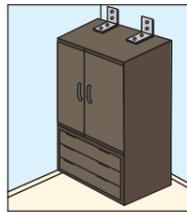
**4**  安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない  
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かないようにしましょう。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうこともあります。



## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

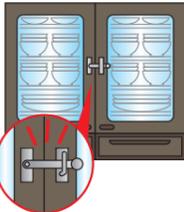
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定しましょう。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておきましょう。



### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷きましょう。重い食器は下の方に置きましょう。扉が開かないように止め金具をつけましょう。



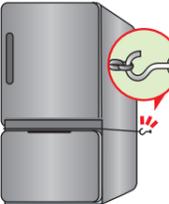
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止めましょう。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておきましょう。



### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定しましょう。



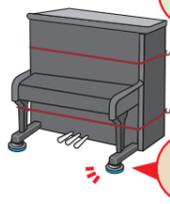
### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置きましょう(家具の上はさげましょう)。



### ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定しましょう。脚には、すべり止めをつけましょう。



## 家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### 屋根

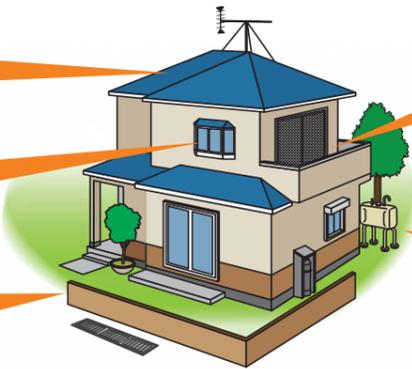
テレビアンテナはしっかり固定しましょう。トタンのめくれを確認・補強しておきましょう。

### 窓ガラス

飛散防止フィルムをはりましょう。網戸が強風で飛ばないようにしておきましょう。

### 塀・門柱

塀のひび割れや傾きを確認し、必要があれば修理しておきましょう。



### ベランダ

植木鉢などは室内に入れておきましょう。落ちる危険がある場合には何も置かないようにしましょう。

### プロパンガスボンベ・灯油タンク

しっかり固定しましょう。

## 洪水時の適切な避難行動を確認しよう

洪水(河川の氾濫)によって市街地や建物、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。一般の建物では、**浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水するおそれがあり、3m以上では2階も浸水するおそれがあるため、2階への避難ができません。**

**洪水の正しい避難行動は、「浸水が始まる前に避難する」ことです。浸水の中の避難は大変危険です。**

このハザードマップで自宅や職場などの浸水等の状況を確認し、下の図でいざというときの避難行動を普段から確認しておきましょう。

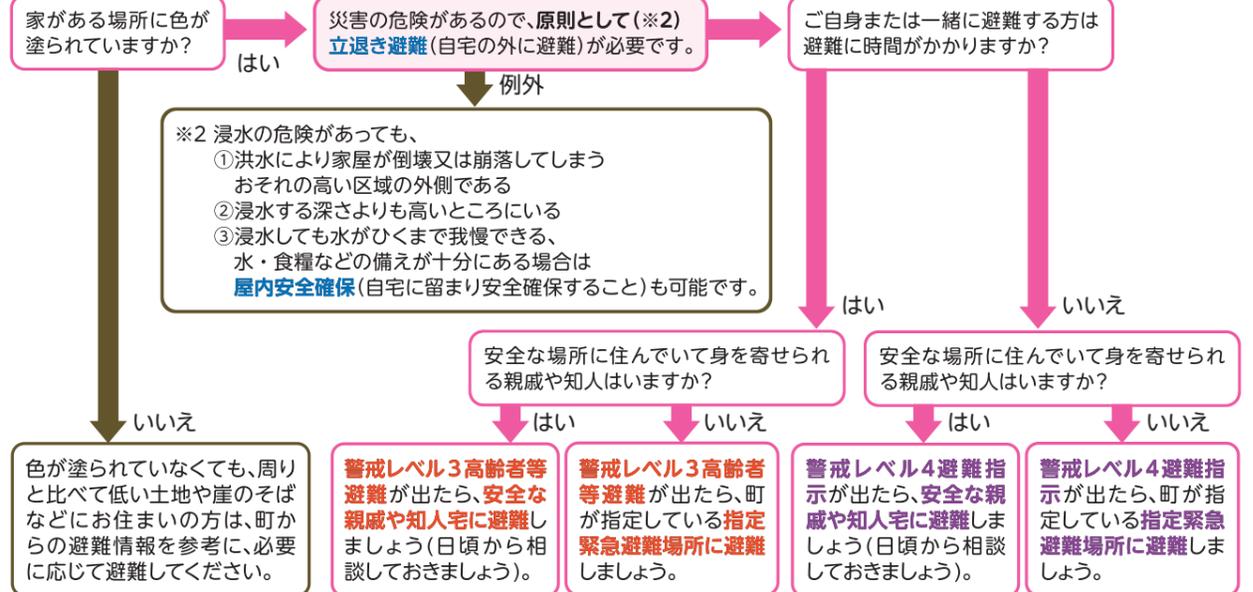
## 避難行動判定フロー

普段から確認 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

●あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップ(※1)で自分の家があるか確認し、印をつけてみましょう。

※1 ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。



出典：内閣府ホームページを加工して作成

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう  
災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

## 知っておくべき避難の5つのポイント

- 避難とは「難」を「避」けること。  
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、町の避難場所だけではありません。  
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・常備薬など、  
できるだけ自ら携行しましょう。
- 町が指定する避難場所が変更されている可能性があります。  
災害時には町のホームページ等で確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め  
危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

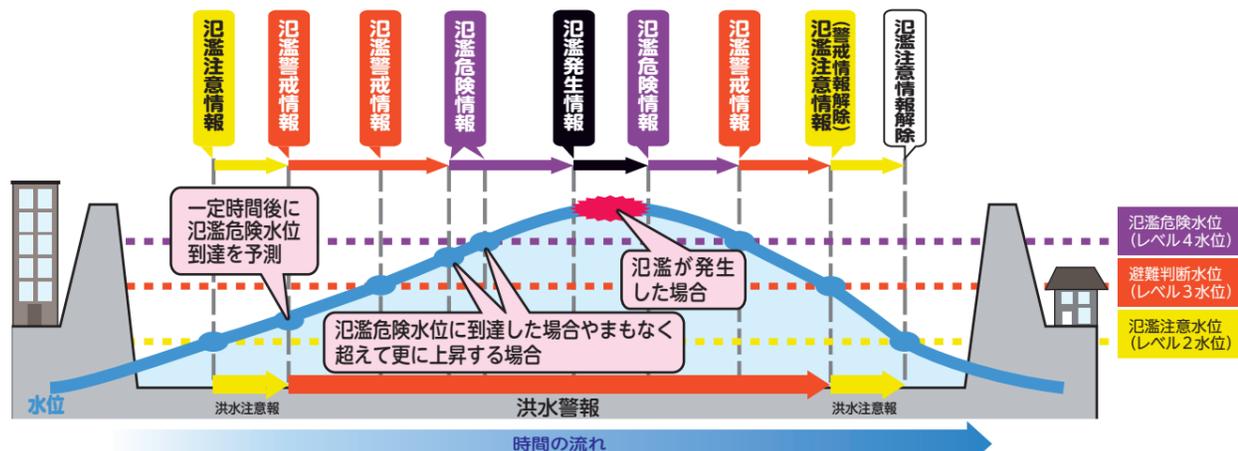


## 洪水浸水想定区域について

- このハザードマップで使用している浸水情報は、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域を示したもので、河川が大雨により氾濫した場合、浸水が予想される区域と浸水の深さを示しています。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのか確認してください。
- このハザードマップには、「想定最大規模」の浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を示しています。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水の深さとなったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水する可能性があります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合がありますので十分注意してください。

## 河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



出典：気象庁ホームページを加工して作成

## 避難行動のポイント、危険な場所

### ！ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さで歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険です。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始してください。

### ！ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁です。水中で脱げづらい紐靴などが適しています。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できません。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意してください。

### ！ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難してください。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に退避してください。

### ！ 川や用水路に近づかない

降雨が続く不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行ってもはいけません。また、避難の途中も増水した川の近くを通るのは避けてください。

## 土砂災害の種類

土砂災害は、大きく分けてがけ崩れ(急傾斜地の崩壊)、土石流、地滑りの3種類に分類される。



### がけ崩れ

雨や雪解け水、地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象



### 土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより、水と一緒に激しく流れ下る現象



### 地すべり

雨や雪解け水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象

## ！ こんな前ぶれ現象に注意！

下記のような前ぶれ現象を察知した場合は、土砂災害が発生する可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場・消防・警察へ通報してください。

<p>小石がパラパラ落ちてくる</p>	<p>がけから水がわき出る</p>	<p>斜面にひび割れができる</p>
<p>山鳴りがする</p>	<p>川の流れが濁り、流木が混ざり始める</p>	<p>雨が降り続けているのに、水位が下がる</p>
<p>がけの斜面から水が噴き出す</p>	<p>地面にひび割れができる</p>	<p>沢や井戸の水が濁る</p>

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、北海道が調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下のとおり指定しています。

### 土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊して住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域で、一定の土地開発が制限され、居室を有する建築物の構造が規制されます。土砂災害警戒区域の中でも特に危険な区域で、レッドゾーンと呼ばれることもあります。

### 土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害警戒区域とは、法律に基づき、北海道が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害が発生した場合に「住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある」土地を指定した区域で、避難体制の整備や土地利用制限などの規制がかけられます。(イエローゾーンと呼ばれることもあります。)

## 山地災害危険地区

山地災害危険地区とは、山地から発生する山腹の崩壊、地すべり及び崩壊土砂の流出などによって、官公署・学校・病院・道路等の公共施設等や人家等に直接被害を与えるおそれがある地区で、地形地質等が一定の基準以上の地区を調査把握したものであり、法的な規制はありません。山地災害危険地区は、災害の発生形態等によって、山腹崩壊危険地区、崩壊土砂流出危険地区、地すべり危険地区の3種類に区分されます。

# 洪水ハザードマップ掲載内容

## 降雨量について

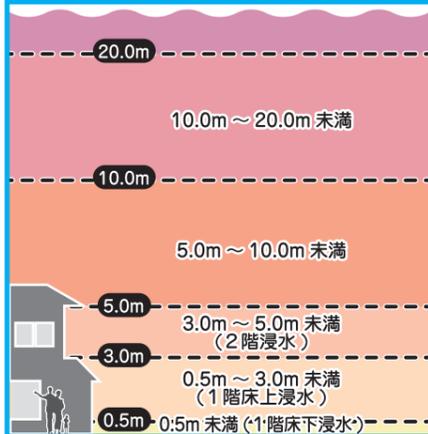
このハザードマップは、厚沢部川、安野呂川、鶺川について、水防法の規定に基づき、想定し得る最大規模の降雨により堤防が壊れるなどして氾濫した場合の浸水が想定される区域と、想定される浸水の深さを表示しています。

また、鹹川、目名川、小鶺川、館川、沼の沢川、糠野川、泥川、須賀川で想定し得る最大規模の降雨による浸水が想定される区域と、想定される水深を簡便な手法で計算したものを表示しています。自分の住んでいる地区がどの程度浸水するのかを確認してください。

河川名	想定最大規模の降雨量	河川名	想定最大規模の降雨量
厚沢部川	333mm(24時間)	館川	136mm(1時間)
安野呂川	333mm(24時間)	沼の沢川	142mm(1時間)
鶺川	333mm(24時間)	糠野川	165mm(2時間)
鹹川	204mm(2時間)	泥川	226mm(2時間)
目名川	152mm(1時間)	須賀川	143mm(1時間)
小鶺川	182mm(2時間)		

## 洪水・津波浸水深及び凡例について

### 浸水想定区域（浸水深の目安）



### 家屋倒壊等氾濫想定区域



### 凡例

	<b>避難場所</b> ※1の付いている避難場所は、大雨等浸水の状況によって、安全な場所への二次避難が必要になる場合があります。
	※2の付いている避難場所は、大雨や長雨または地震の状況によって土砂災害のおそれがあるため、指定緊急避難場所として使用できません。
	※3の付いている避難場所は、大雨等浸水の状況によって、厚沢部小学校は3階以上、館小学校は2階以上の使用のみ可能になる場合があります。
	<b>福祉避難所</b>
	<b>要配慮者利用施設</b>
	<b>過去に浸水した場所</b> (住民からの情報)
	<b>避難可能な場所</b> (住民からの情報)

## 土砂災害（特別）警戒区域

土砂災害（特別）警戒区域とは、土砂災害（土石流・がけ崩れ・地すべり）が発生するおそれがある箇所を示しています。自分の住んでいる周りに危険な箇所があるか確認するとともに、この危険箇所を通らない避難場所までの経路を選択しておきましょう。

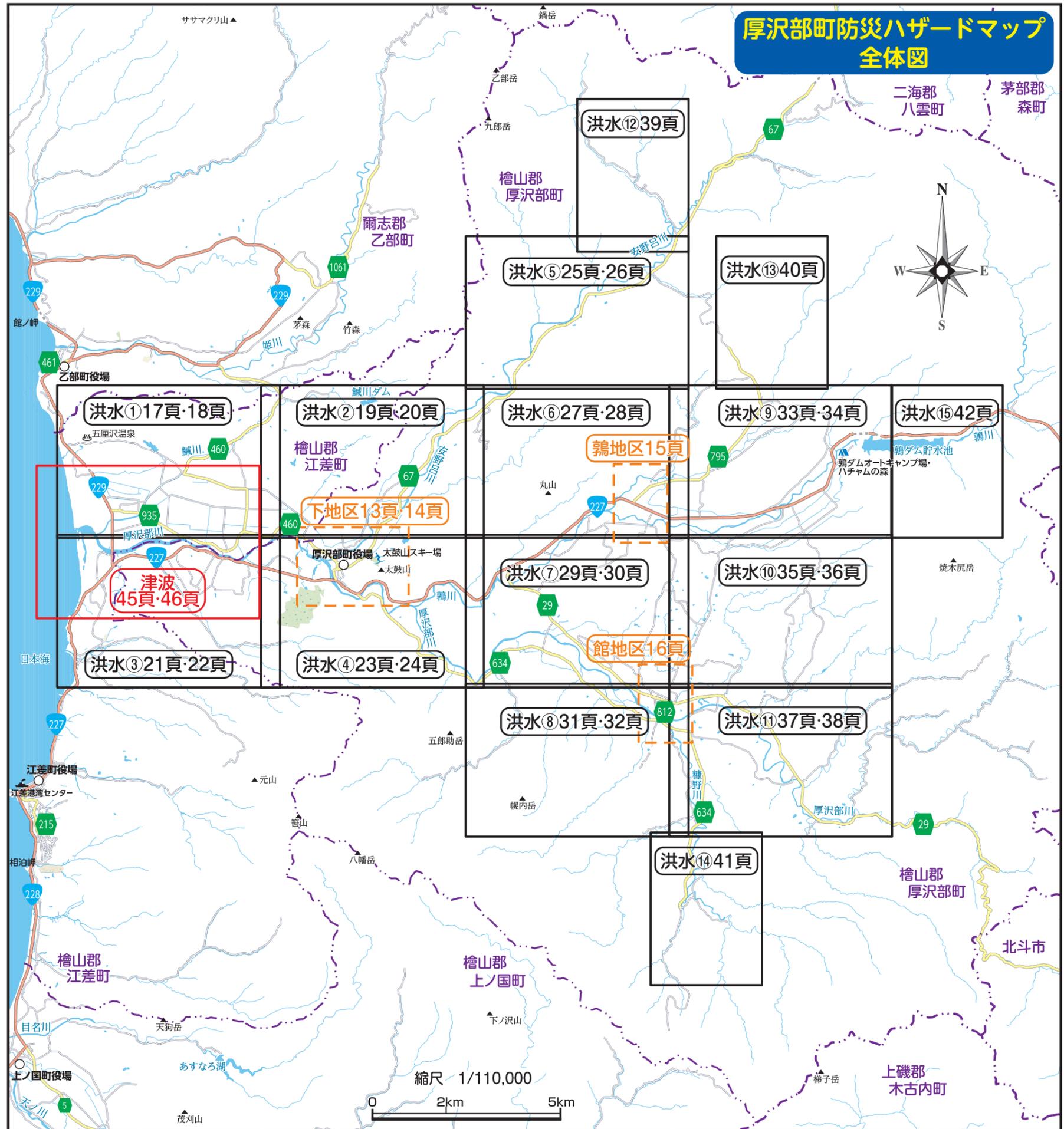
土砂災害（特別）警戒区域	
がけ崩れ (急傾斜地崩壊)	特別警戒区域 警戒区域
土石流	特別警戒区域 警戒区域
地すべり	警戒区域

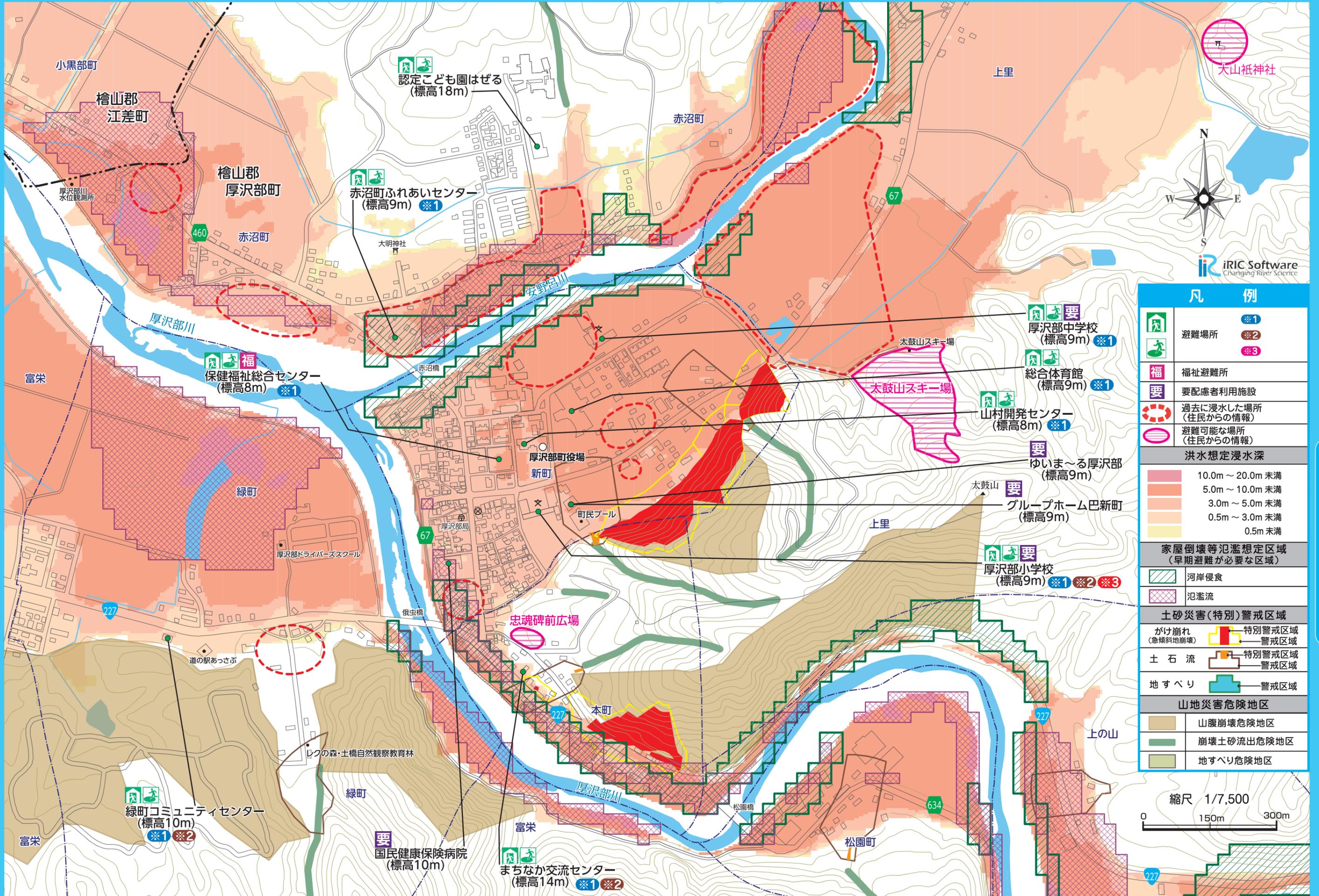
## 山地災害危険地区

山地災害危険地区とは、山地から発生する山腹の崩壊、地すべり及び崩壊土砂の流出などによって、官公署・学校・病院・道路等の公共施設等や人家等に直接被害を与えるおそれがある地区で、地形地質等が一定の基準以上の地区を調査把握したものであり、法的な規制はありません。

	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区

## 厚沢部町防災ハザードマップ 全体図





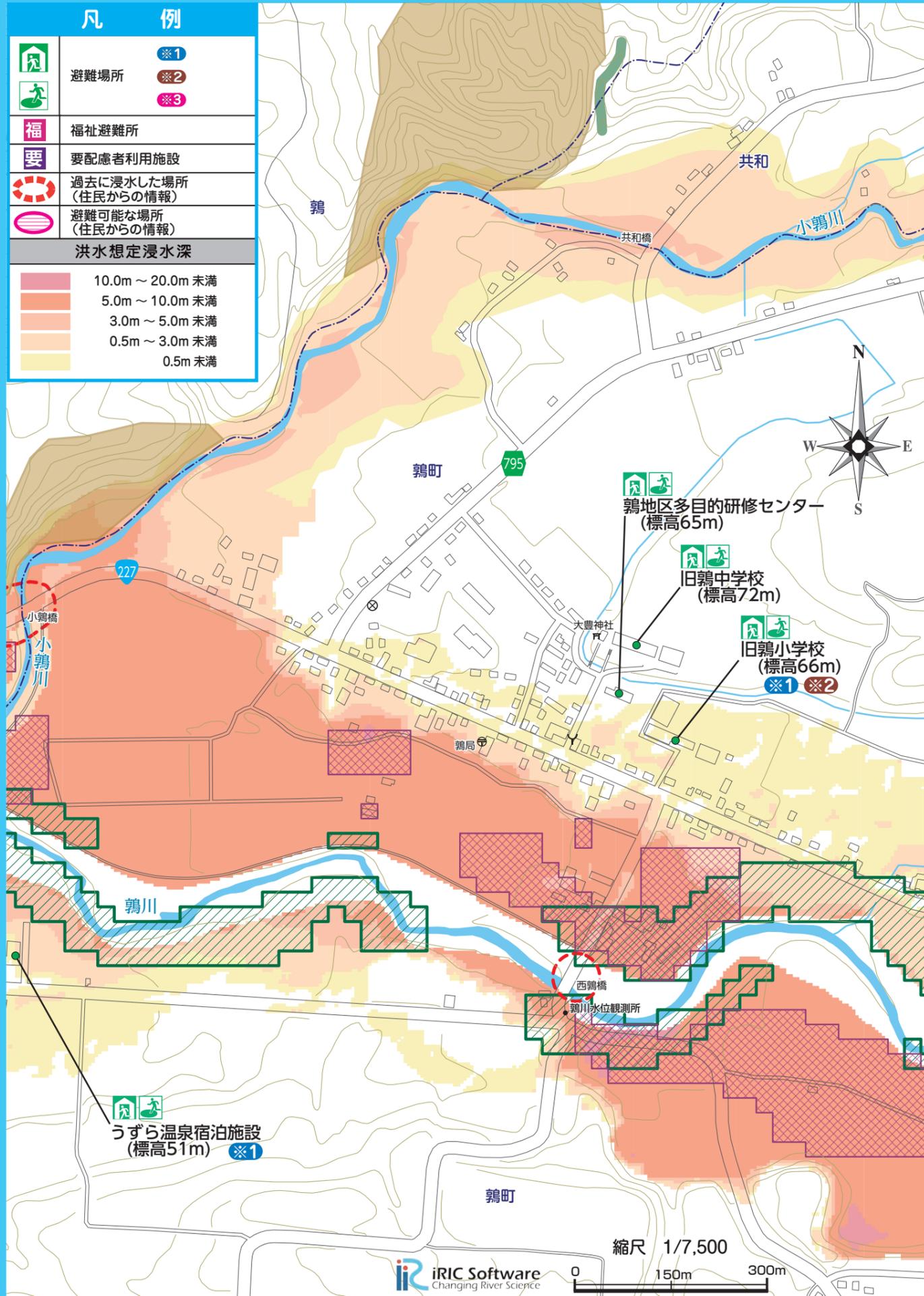
凡 例	
	※1 避難場所
	※2
	※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	特別警戒区域
	警戒区域
	特別警戒区域
	警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区

縮尺 1/7,500  
0 150m 300m

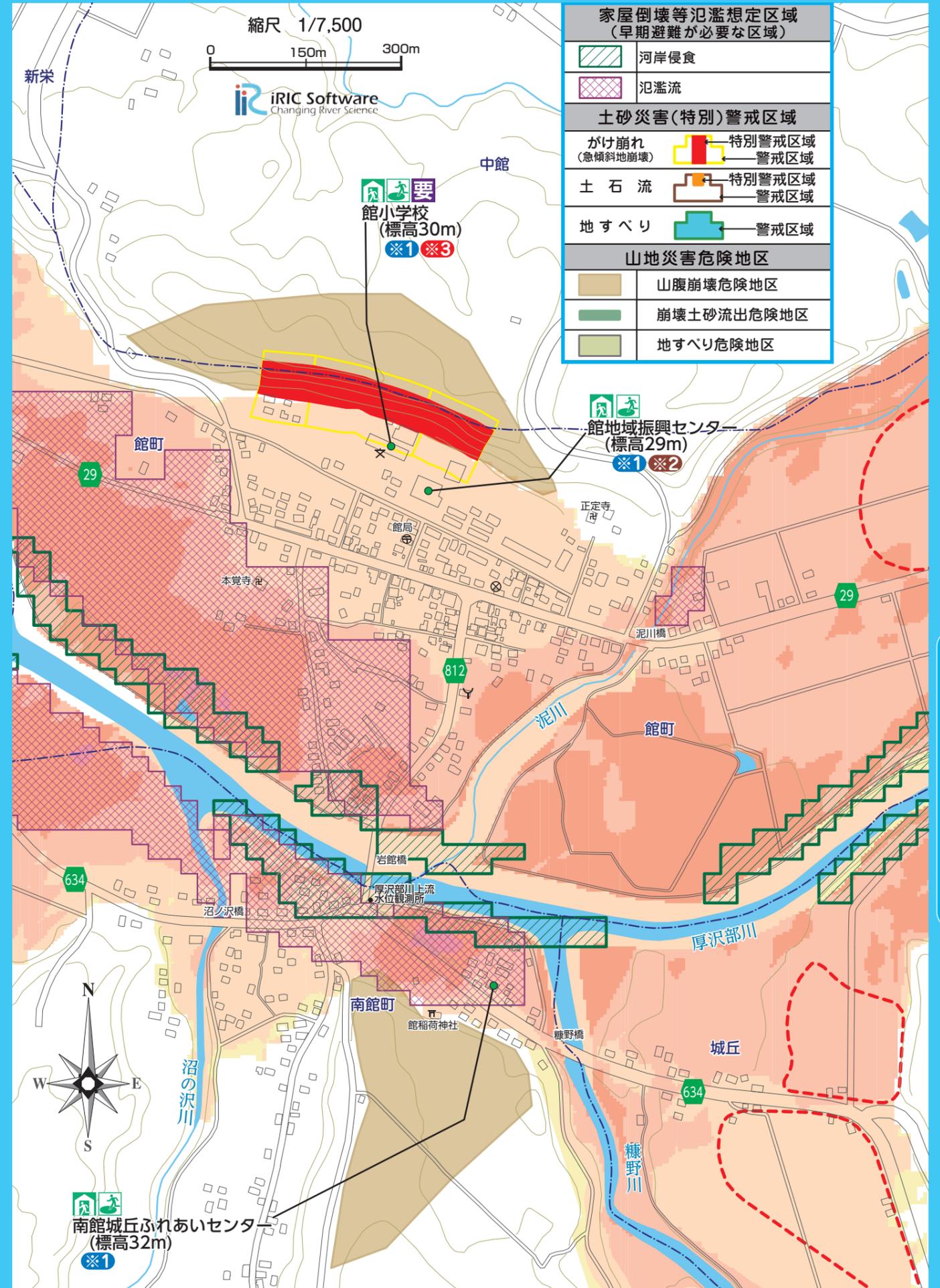
洪水・土砂

洪水・土砂

# 鶉地区拡大図



# 館地区拡大図

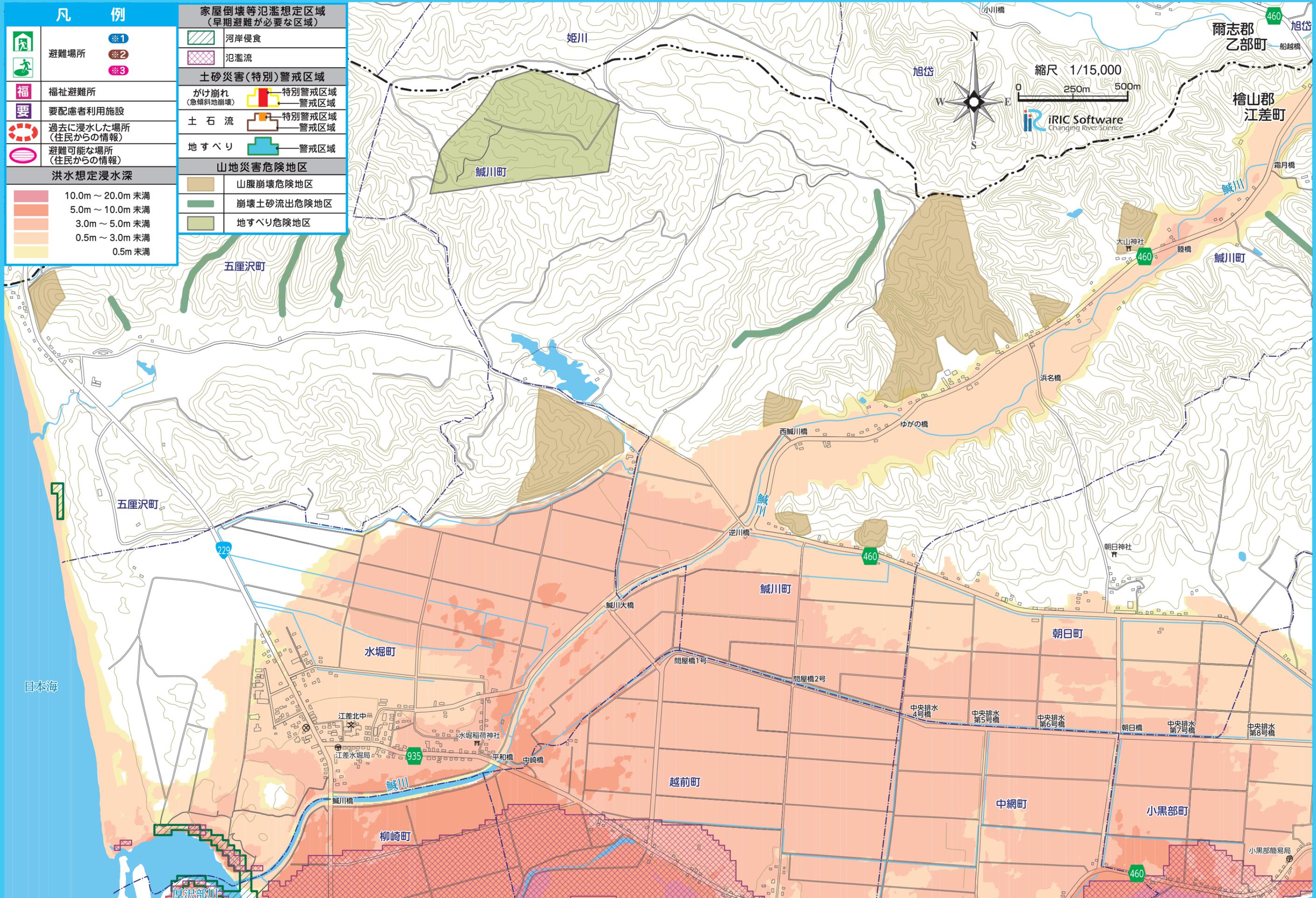


洪水・土砂

洪水・土砂

凡 例	
	※1
	※2
	※3
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
土砂災害(特別)警戒区域	
	特別警戒区域
	警戒区域
	警戒区域
山地災害危険地区	

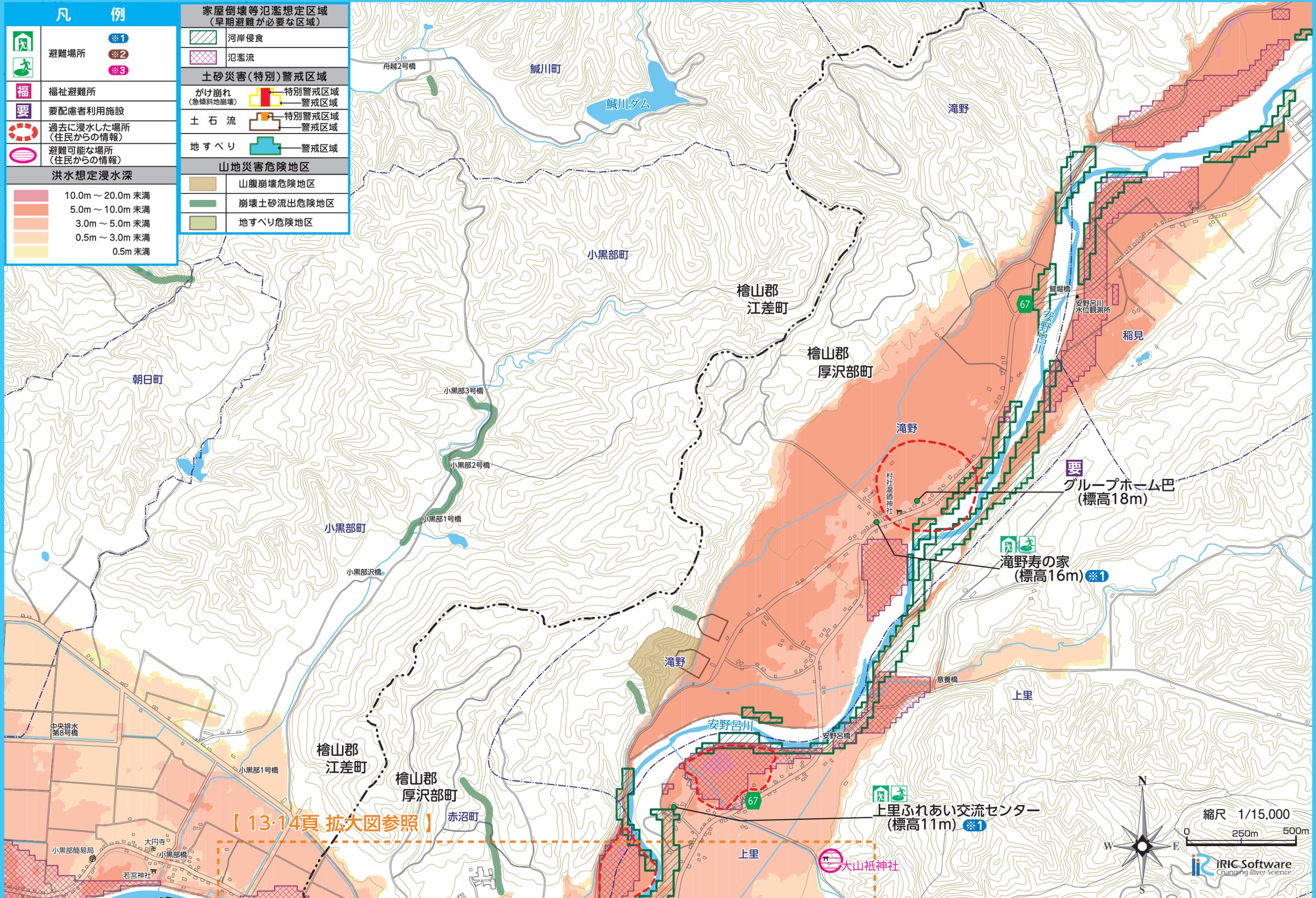


洪水・土砂

洪水・土砂

凡 例	
	※1
	※2
	※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	特別警戒区域
	警戒区域
	特別警戒区域
	警戒区域
	警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区



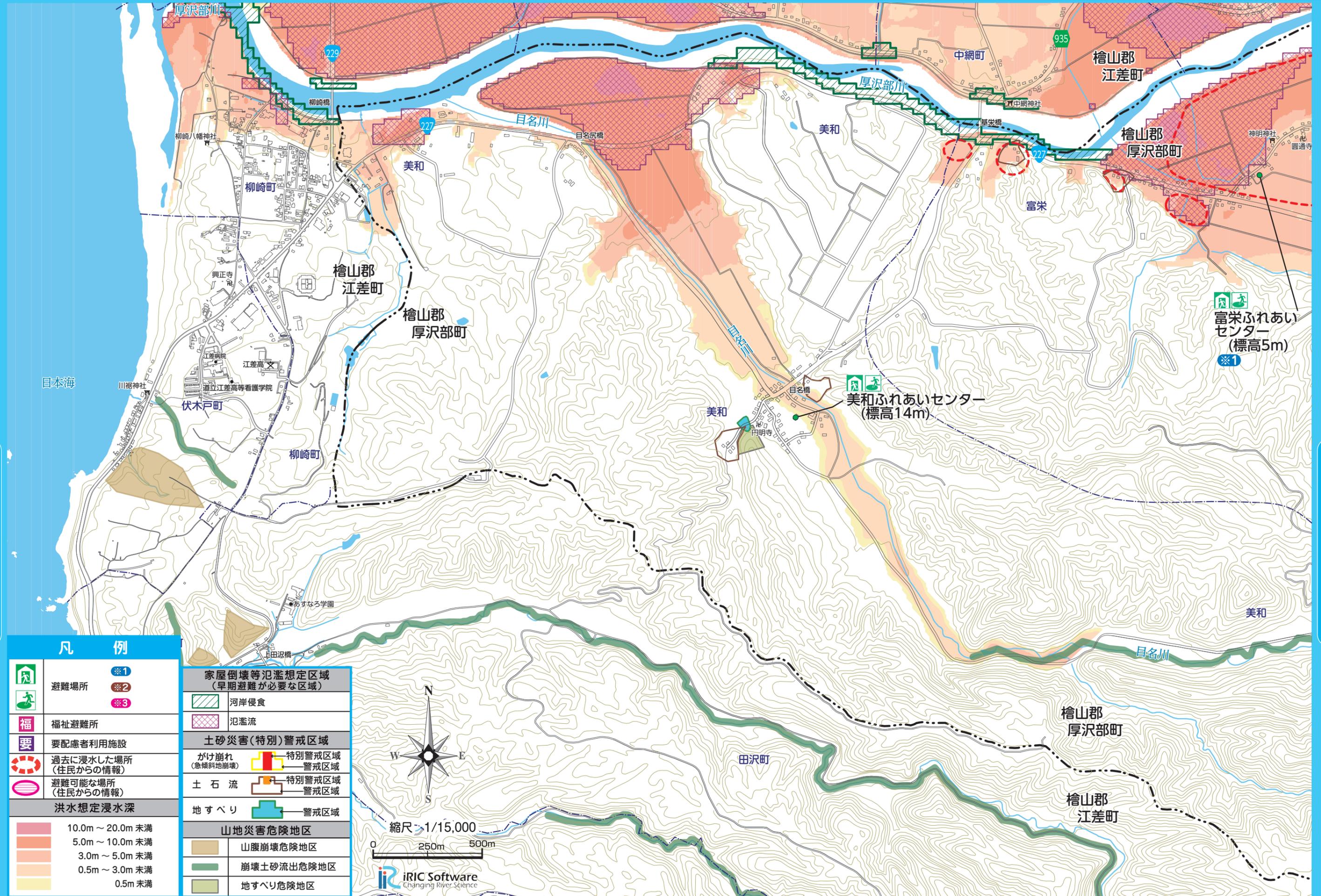
【13・14頁 拡大図参照】

縮尺 1/15,000  
0 250m 500m

IRIC Software  
Changing River Science

洪水・土砂

洪水・土砂



凡 例	
	避難場所 ※1
	福祉避難所 ※2
	福祉避難所 ※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	特別警戒区域 (急傾斜地崩壊)
	警戒区域
	特別警戒区域 (土石流)
	警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区

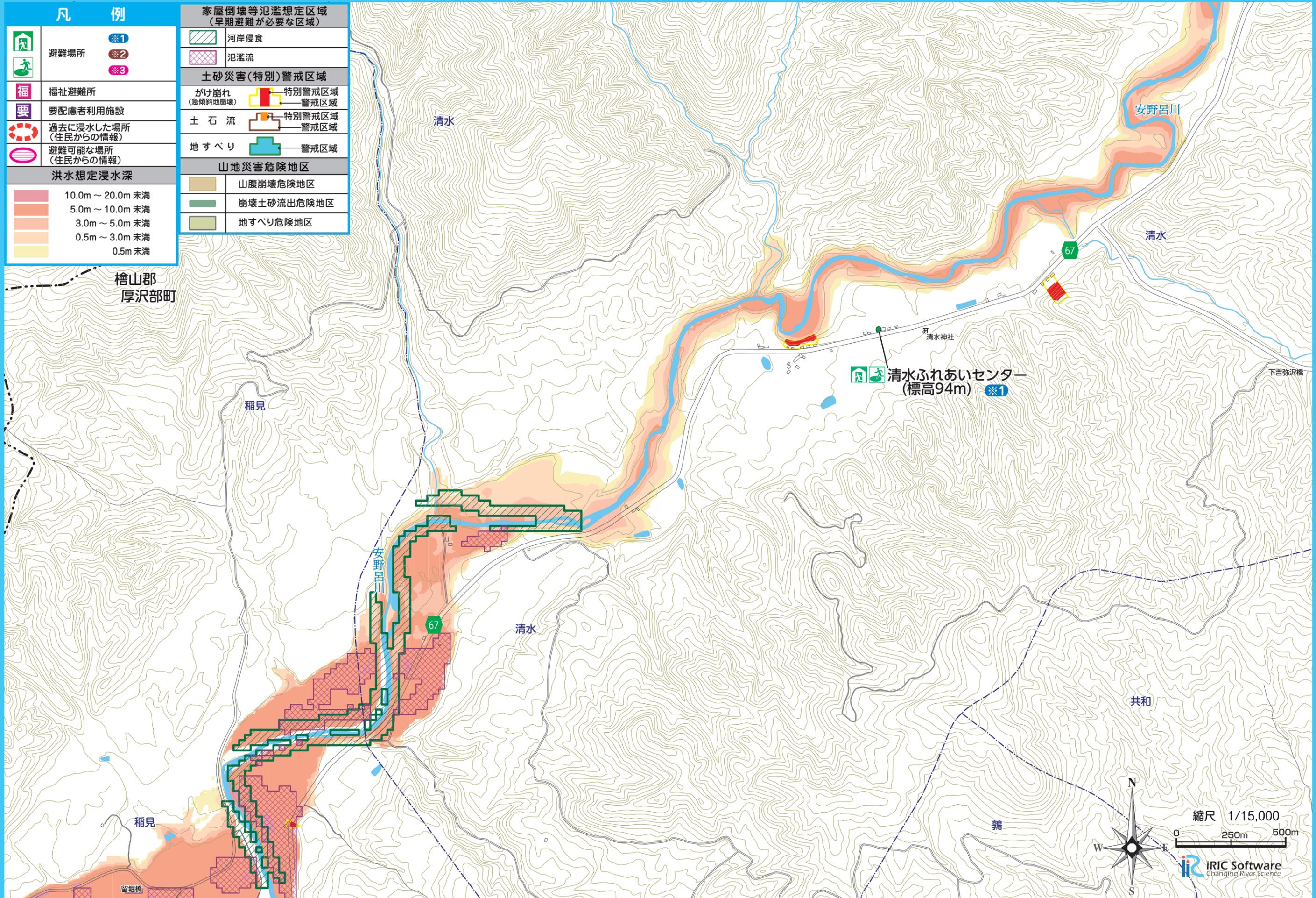


洪水・土砂

洪水・土砂

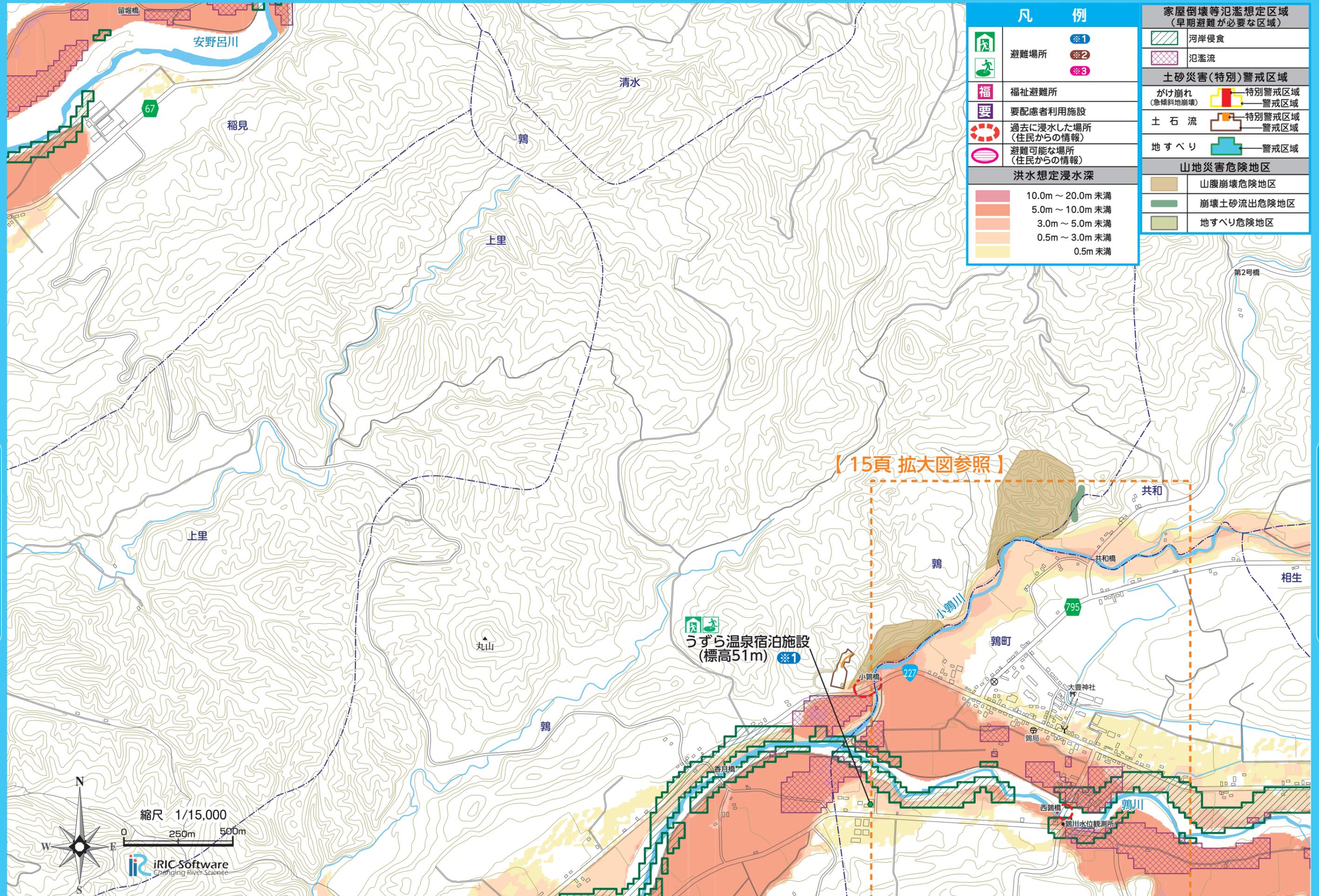


凡 例		家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	※1 避難場所		河岸侵食
	※2 避難場所		氾濫流
	※3 避難場所	<b>土砂災害(特別)警戒区域</b>	
	福祉避難所		がけ崩れ(急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	要配慮者利用施設		警戒区域
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)		土石流 特別警戒区域
	避難可能な場所 (住民からの情報)		警戒区域
<b>洪水想定浸水深</b>		<b>山地災害危険地区</b>	
	10.0m ~ 20.0m 未満		山腹崩壊危険地区
	5.0m ~ 10.0m 未満		崩壊土砂流出危険地区
	3.0m ~ 5.0m 未満		地すべり危険地区
	0.5m ~ 3.0m 未満		
	0.5m 未満		



洪水・土砂

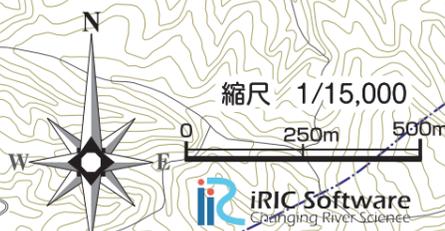
洪水・土砂



凡 例	
	避難場所 ※1
	避難場所 ※2
	避難場所 ※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	かけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区

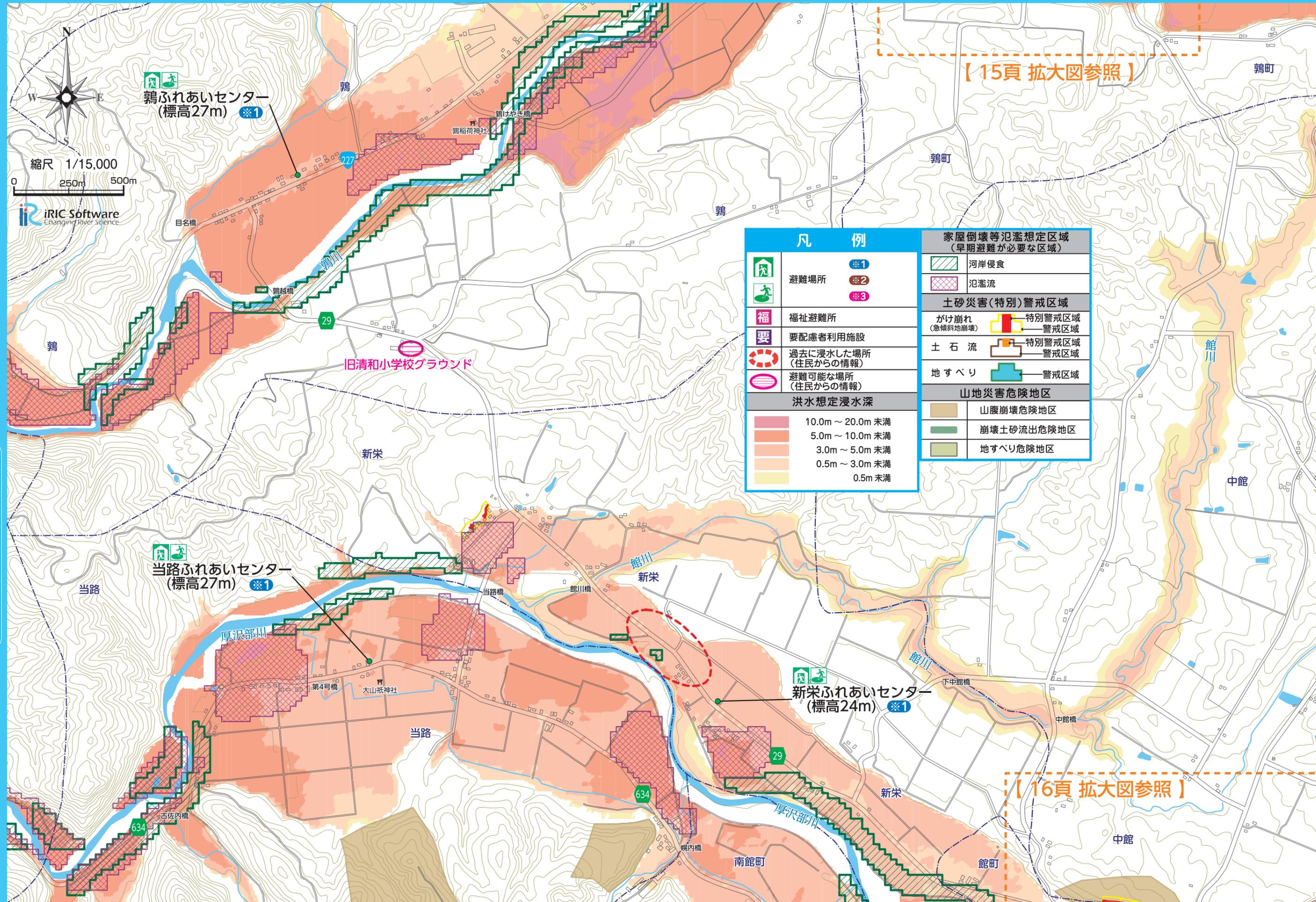
【15頁 拡大図参照】

うずら温泉宿泊施設  
(標高51m) ※1



洪水・土砂

洪水・土砂



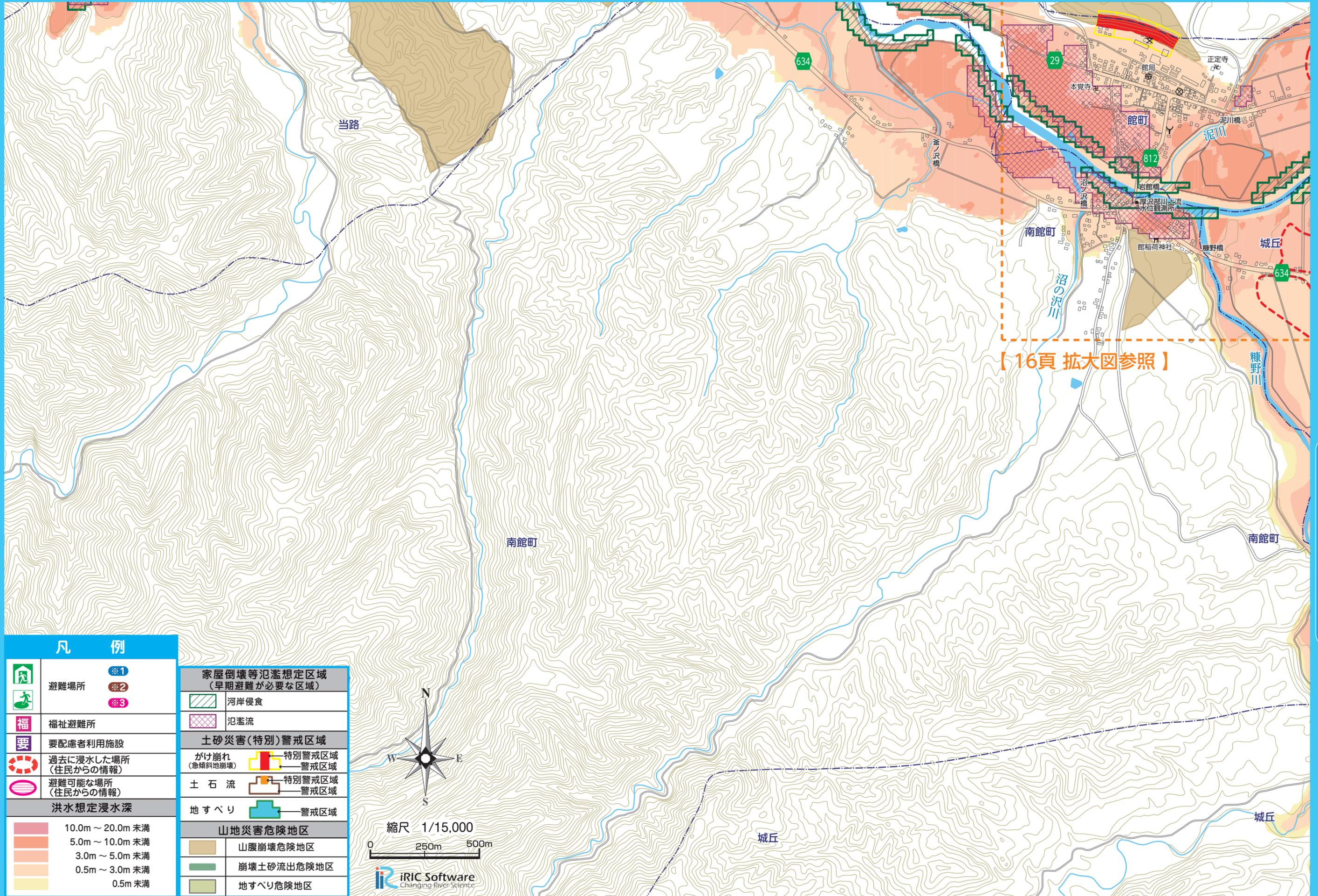
【15頁 拡大図参照】

【16頁 拡大図参照】

凡 例		家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	避難場所 ※1		河岸侵食
	避難場所 ※2		氾濫流
	避難場所 ※3	<b>土砂災害(特別)警戒区域</b>	
	福祉避難所		がけ崩れ(急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	要配慮者利用施設		警戒区域
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)		土石流 特別警戒区域
	避難可能な場所 (住民からの情報)		警戒区域
<b>洪水想定浸水深</b>		<b>山地災害危険地区</b>	
	10.0m ~ 20.0m 未満		山腹崩壊危険地区
	5.0m ~ 10.0m 未満		崩壊土砂流出危険地区
	3.0m ~ 5.0m 未満		地すべり危険地区
	0.5m ~ 3.0m 未満		
	0.5m 未満		

洪水・土砂

洪水・土砂

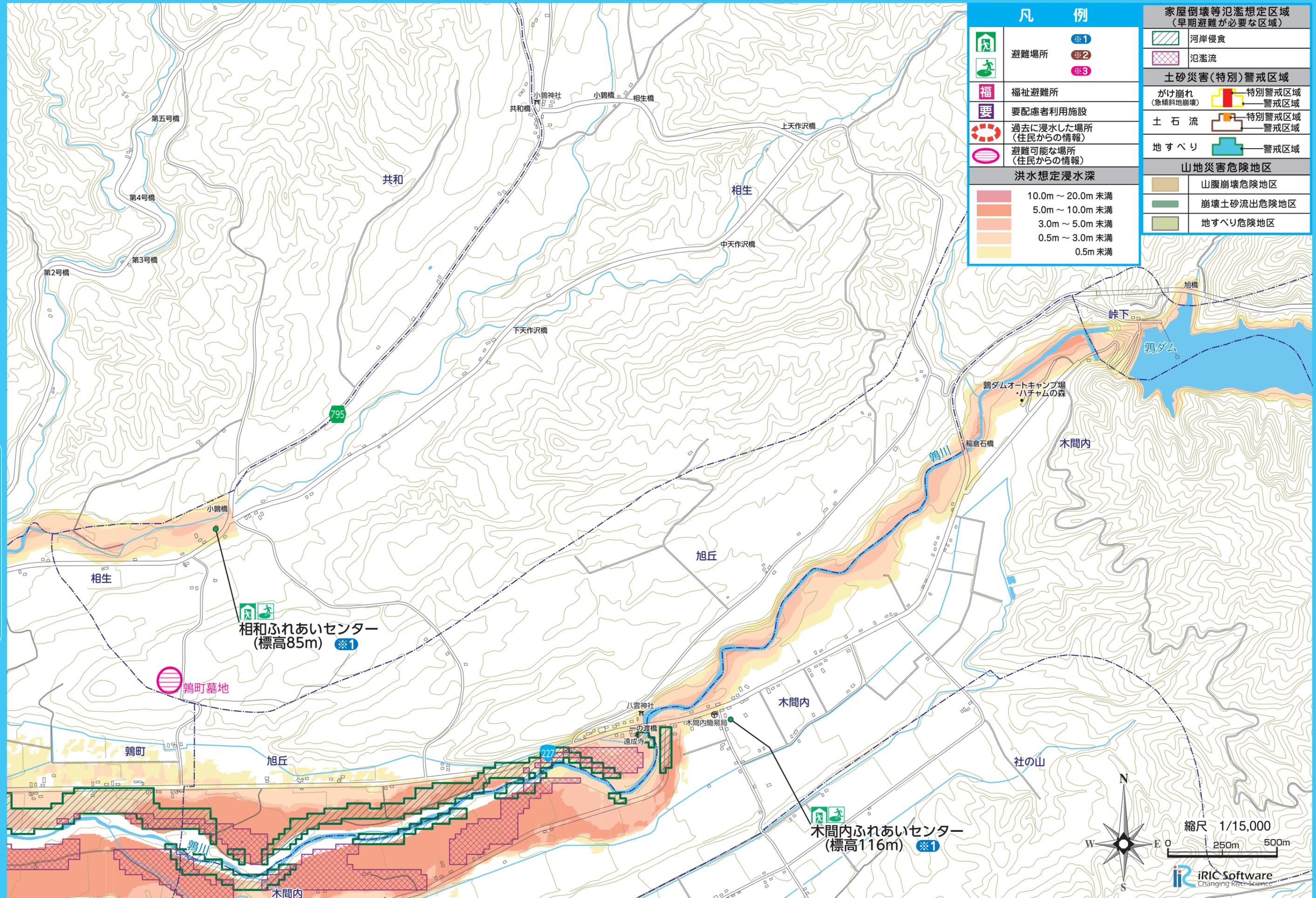


【16頁 拡大図参照】

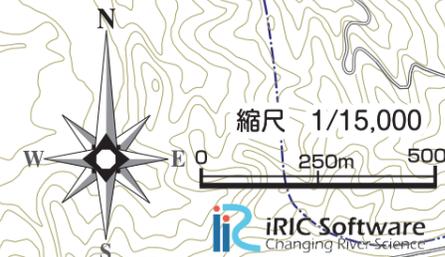
凡 例	
	避難場所 ※1
	※2
	※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m～20.0m 未満
	5.0m～10.0m 未満
	3.0m～5.0m 未満
	0.5m～3.0m 未満
	0.5m 未満

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	かけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区





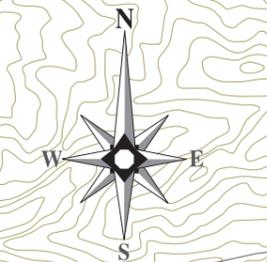
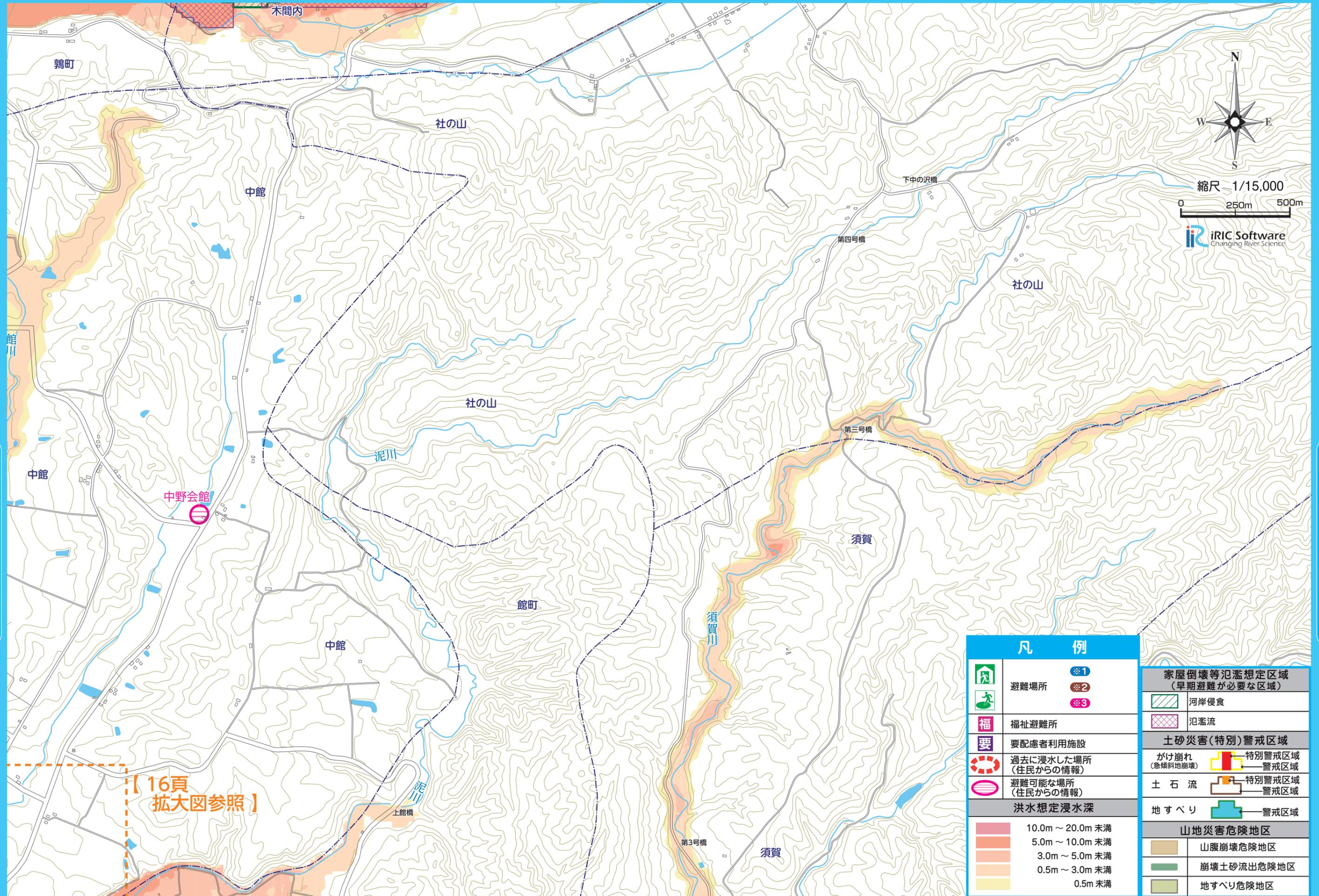
凡 例	
	避難場所 ※1
	※2
	※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	かけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区



縮尺 1/15,000

0 250m 500m

iRIC Software  
Changing River Science



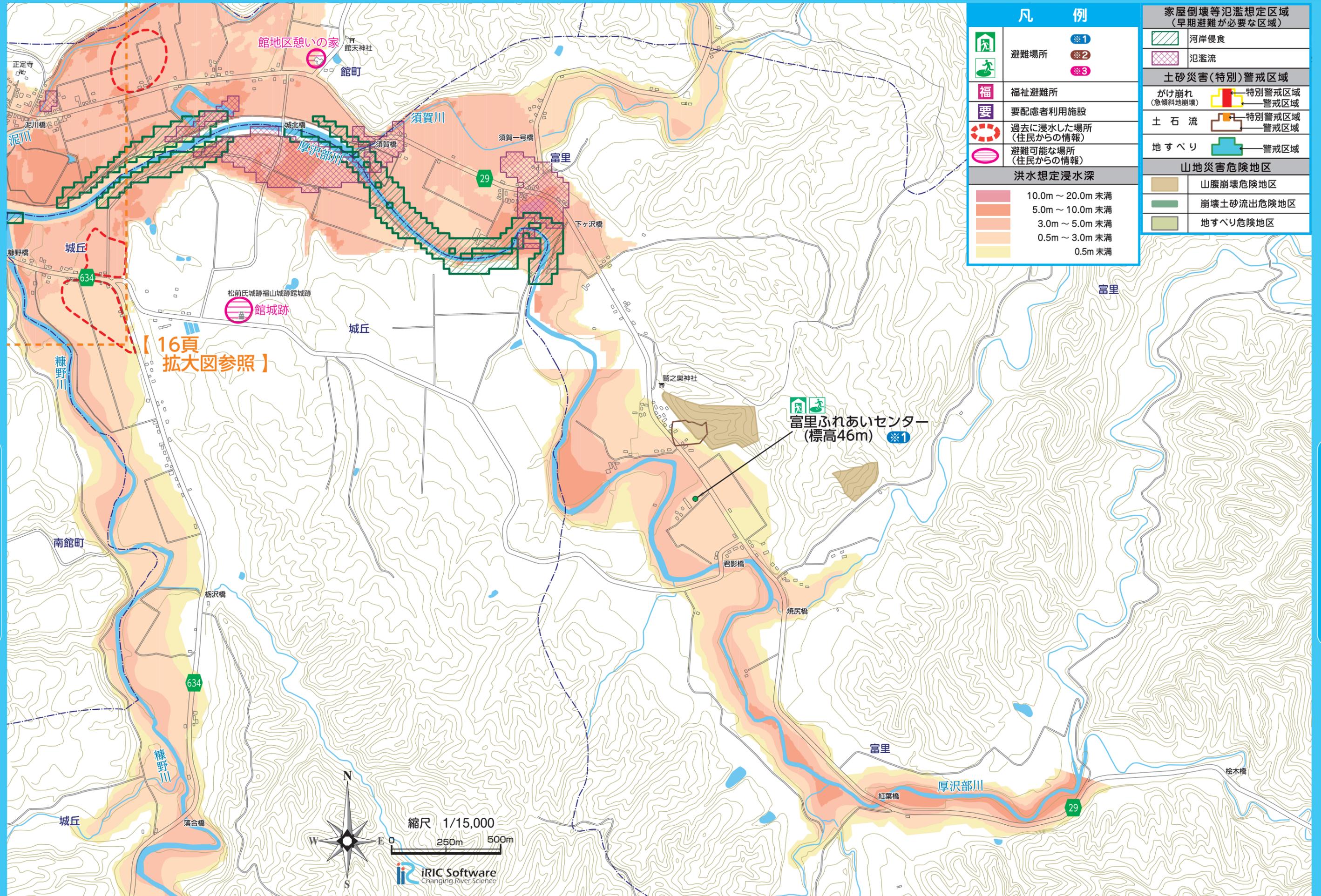
縮尺 1/15,000  
0 250m 500m  
iRIC Software  
Changing River Science

【16頁  
拡大図参照】

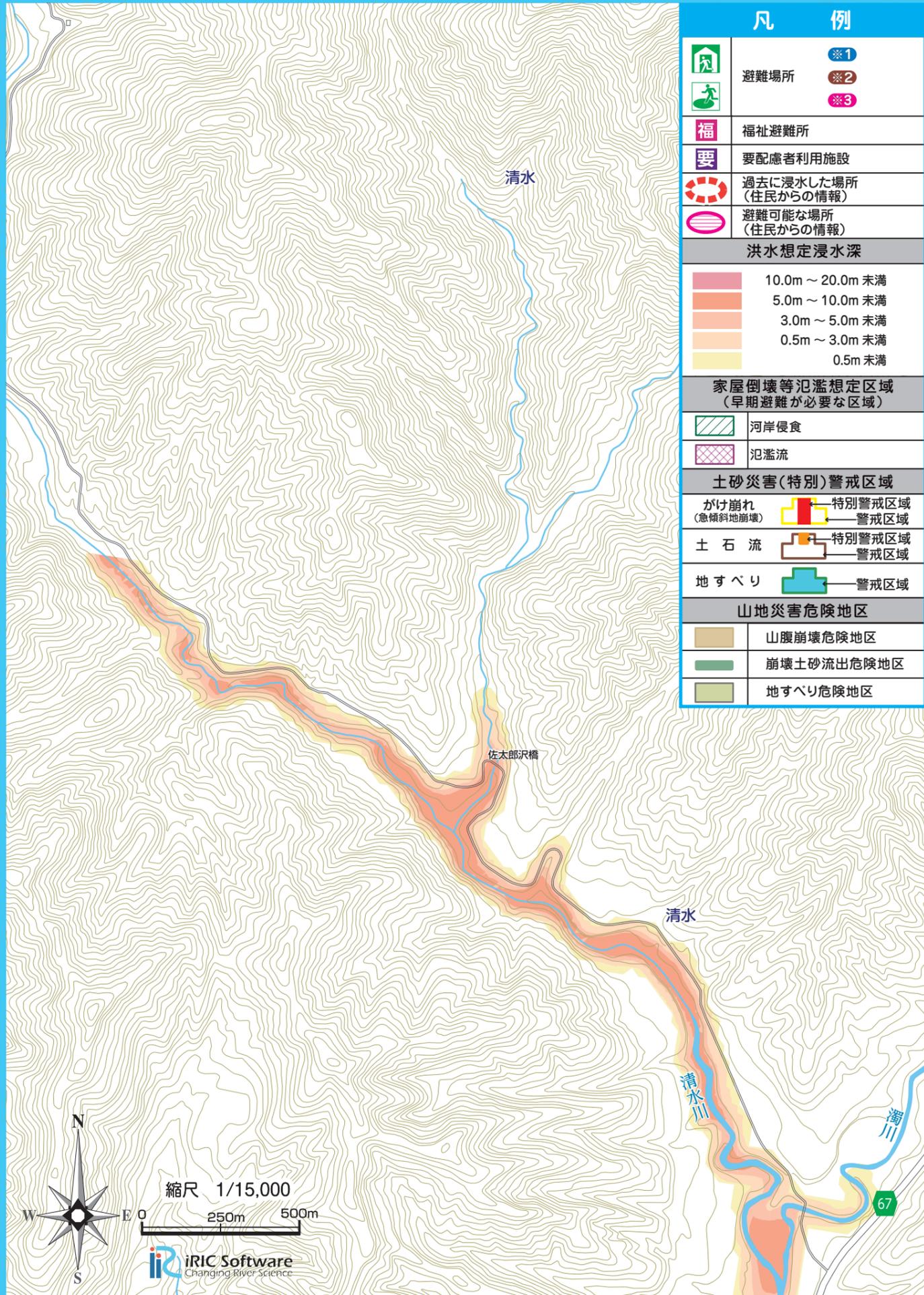
凡 例	
	避難場所 ※1
	避難場所 ※2
	避難場所 ※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	かけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域 警戒区域
	土石流 特別警戒区域 警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区

洪水・土砂

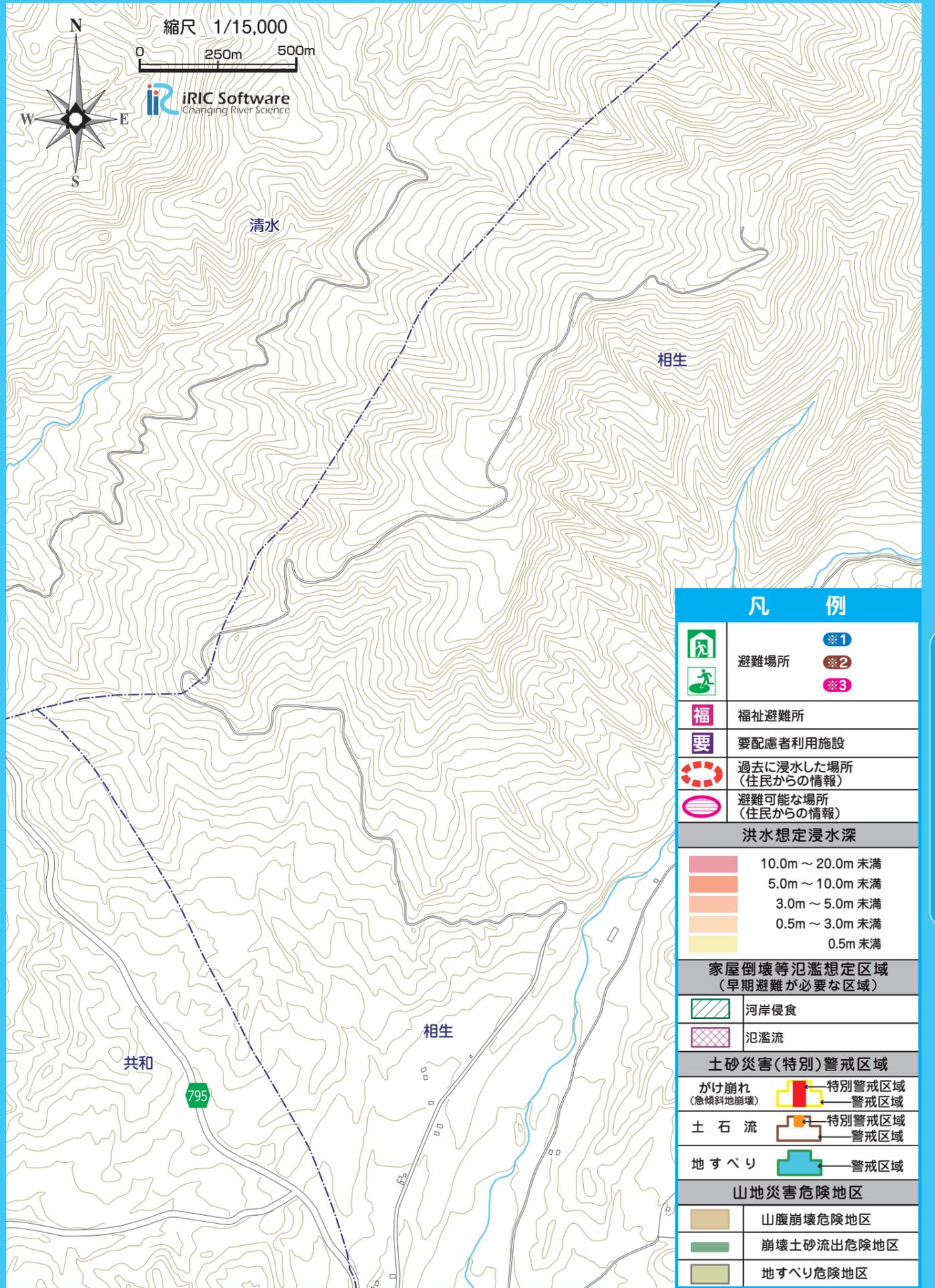
洪水・土砂



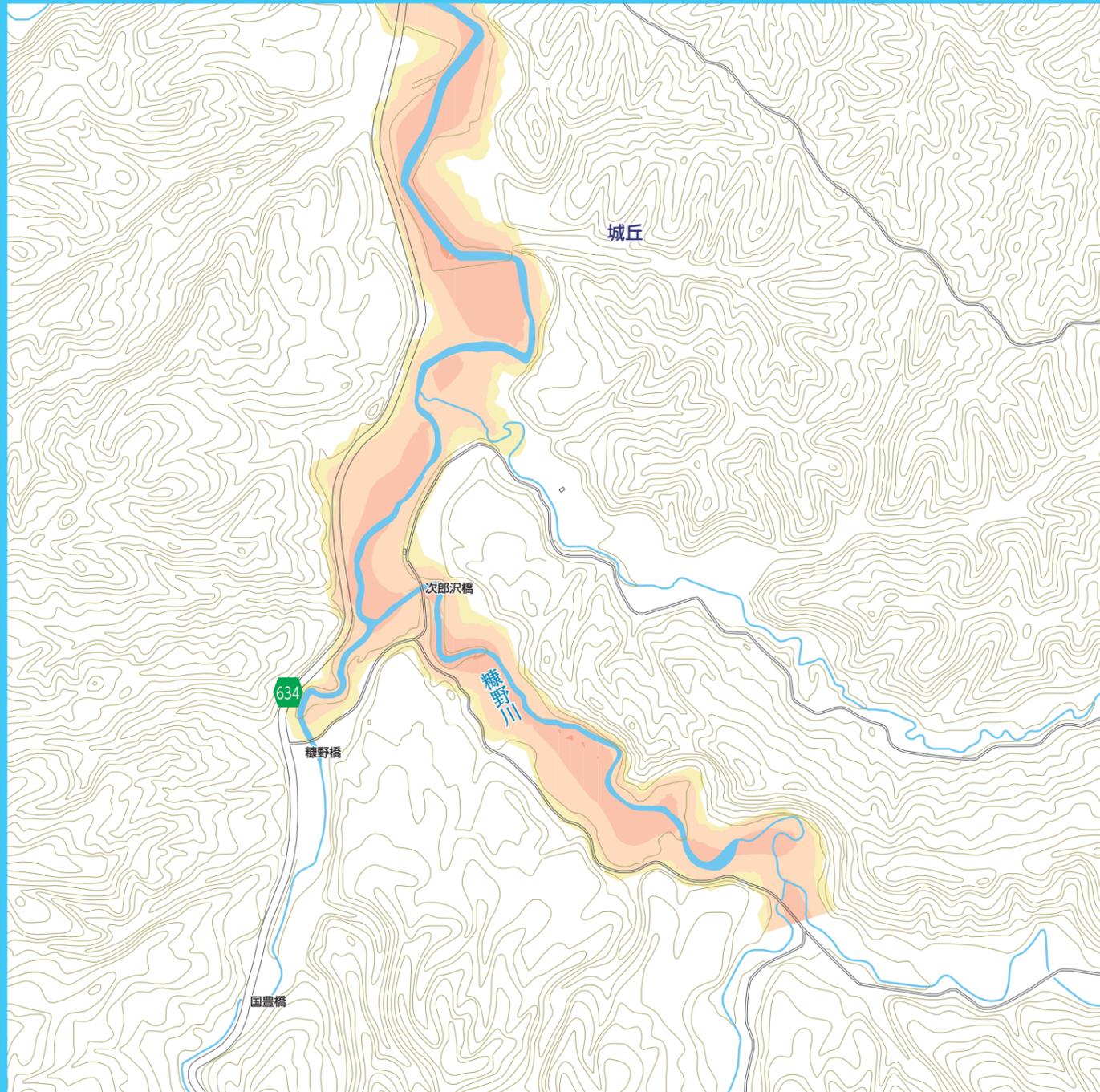
凡 例	
	避難場所 ※1
	避難場所 ※2
	避難場所 ※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	かけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区



凡 例	
	避難場所 ※1
	福祉避難所 ※2
	要配慮者利用施設 ※3
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	がけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区

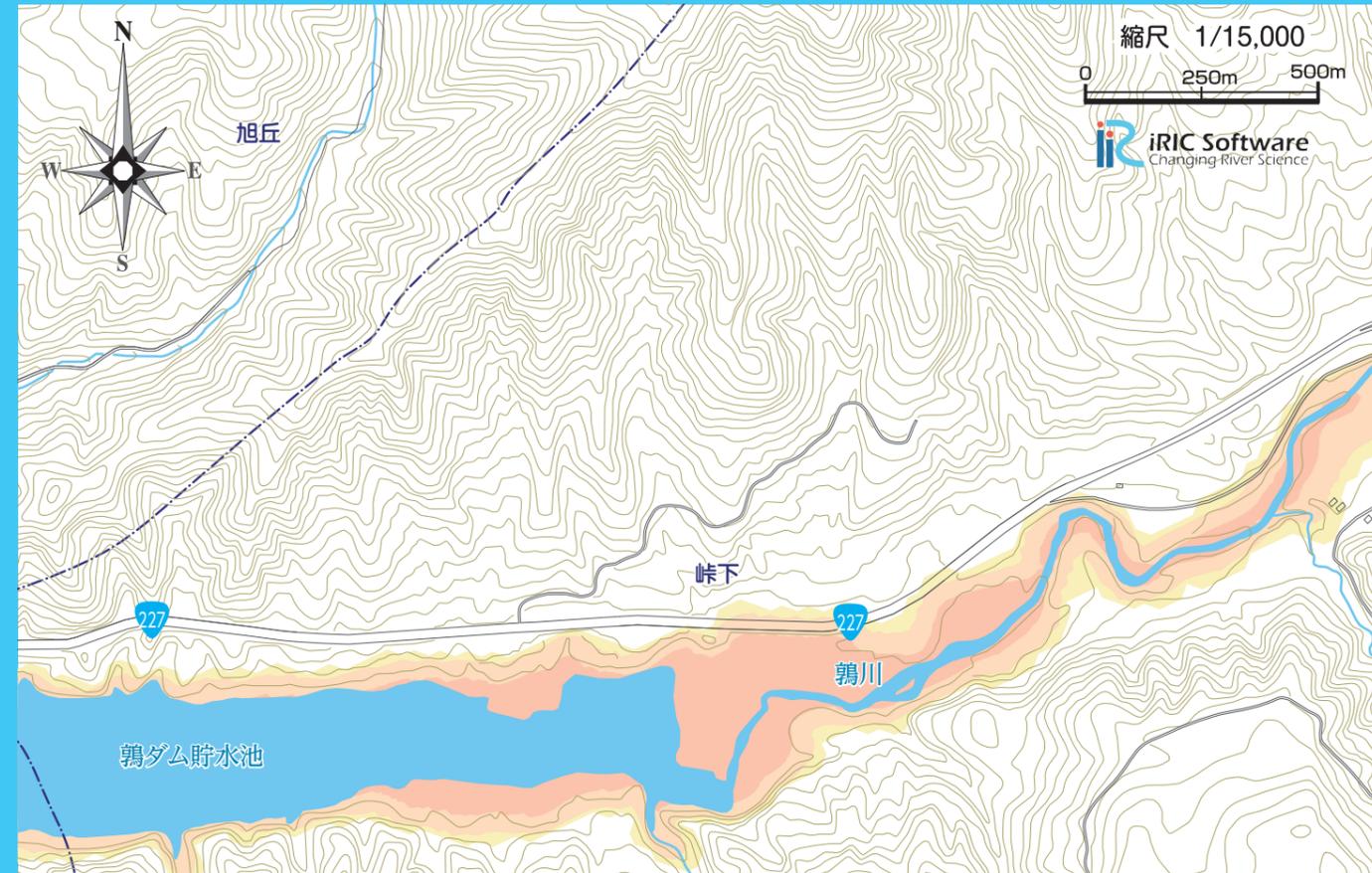
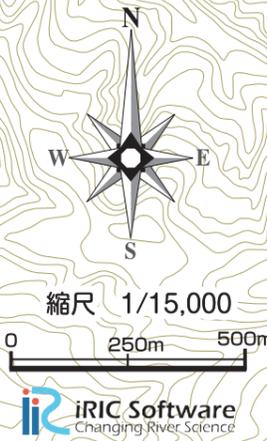


凡 例	
	避難場所 ※1
	福祉避難所 ※2
	要配慮者利用施設 ※3
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	がけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区



凡 例	
	避難場所 ※1
	避難場所 ※2
	避難場所 ※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	がけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区



凡 例	
	避難場所 ※1
	避難場所 ※2
	避難場所 ※3
	福祉避難所
	要配慮者利用施設
	過去に浸水した場所 (住民からの情報)
	避難可能な場所 (住民からの情報)
洪水想定浸水深	
	10.0m ~ 20.0m 未満
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期避難が必要な区域)	
	河岸侵食
	氾濫流
土砂災害(特別)警戒区域	
	がけ崩れ (急傾斜地崩壊) 特別警戒区域
	土石流 特別警戒区域
	地すべり 警戒区域
山地災害危険地区	
	山腹崩壊危険地区
	崩壊土砂流出危険地区
	地すべり危険地区

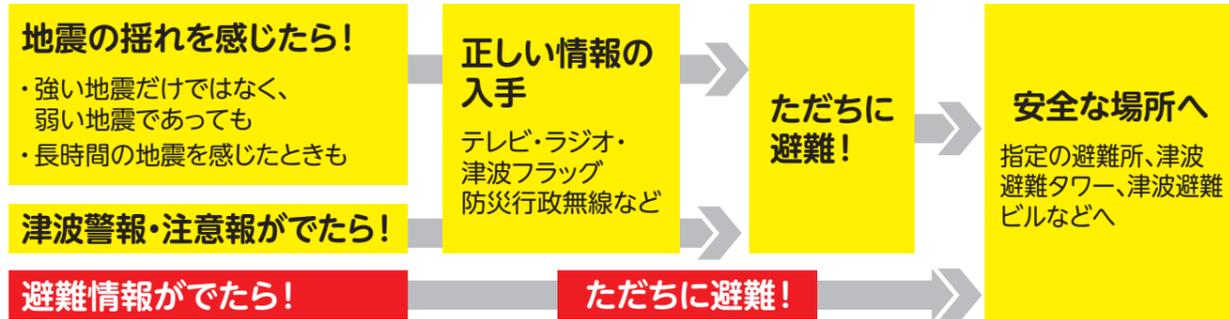


## 津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

種類	発表される津波の高さ		取るべき行動	想定される被害
	数値での発表 (予想される津波の高さ区分)	巨大地震の 場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	沿岸部や川沿い にいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)			
	5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	—	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。

*大津波警報を「特別警報」に位置づけています。

## 津波からの避難



**津波フラッグは避難の合図!!** 津波警報等を知る手段に、令和2年夏より新しく津波フラッグが加わりました。海岸で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難しましょう。

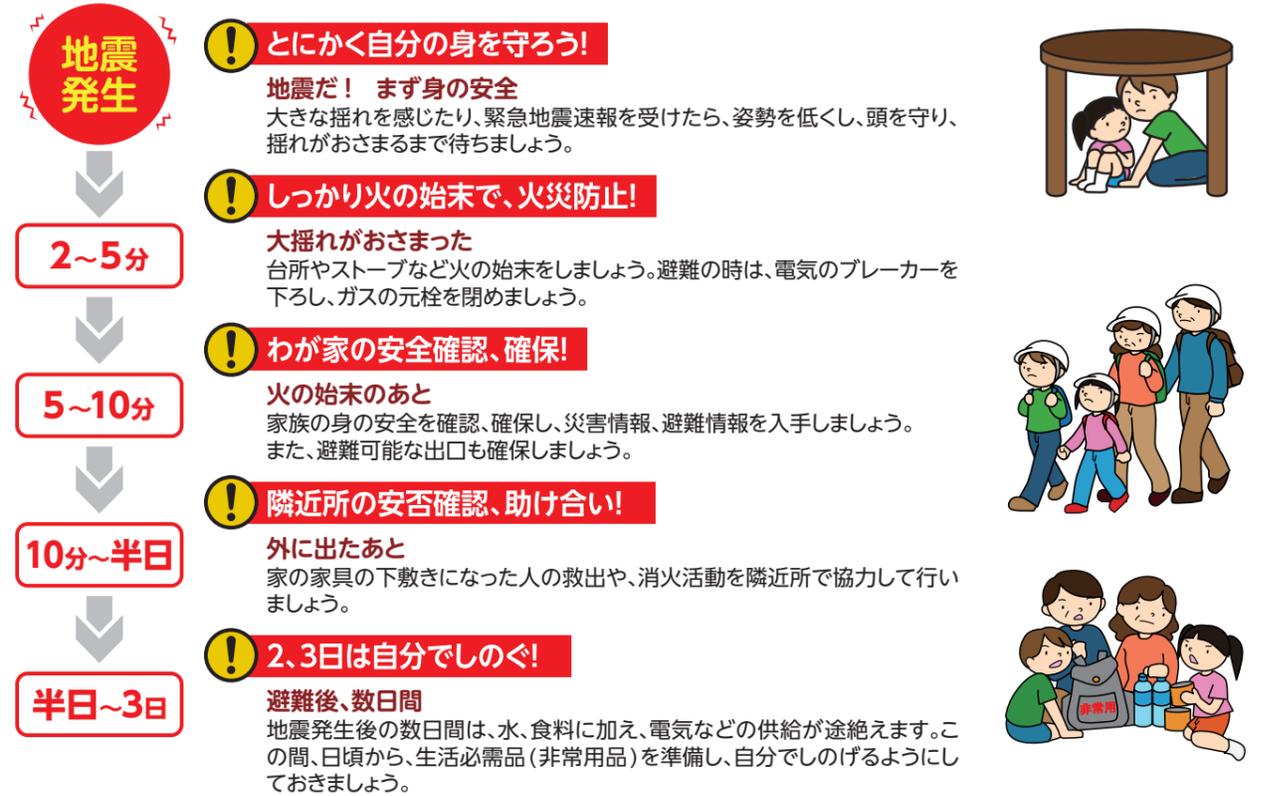
## もしもの時のため、「津波標識」の確認を

津波の危険がある場所には、津波が襲う危険を示す「津波注意」標識や、避難場所、避難ビルを示す標識が設置されています。海の近くにいるときは、必ず避難経路と合わせて確認しておきましょう。



出典：気象庁ホームページを加工して作成

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル



## 屋内にいた場合

- 家の中**
  - 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難しましょう。
  - 揺れがおさまったら火の確認をすみやかに行きましょう(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
  - 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保しましょう。
  - 裸足で歩き回らないようにしましょう(ガラスの破片などでケガをする)。
- コンビニ・商店**
  - カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとりましょう。
- 集合住宅**
  - ドアや窓を開けて避難口を確保しましょう。
  - 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難しましょう。

## 屋外にいた場合

- 路上**
  - その場に立ち止まらず窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難しましょう。
  - 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動しましょう。
  - ブロック塀や自動販売機などには近づかないようにしましょう。
  - 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意しましょう。
- 車を運転中**
  - ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切りましょう。
  - 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集しましょう。
  - 避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難しましょう。
- 海岸付近**
  - 高台へ避難し津波情報をよく聞き、注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかないようにしましょう。



この津波ハザードマップは、平成 29 年 2 月に北海道から公表された、日本海沿岸における最大クラスの津波を想定した津波浸水想定区域図を基に作成しています。なお、想定以上の津波の発生や地形的特徴などにより、浸水想定区域以外でも浸水するおそれがあります。

想定津波波源域

津波浸水想定区域

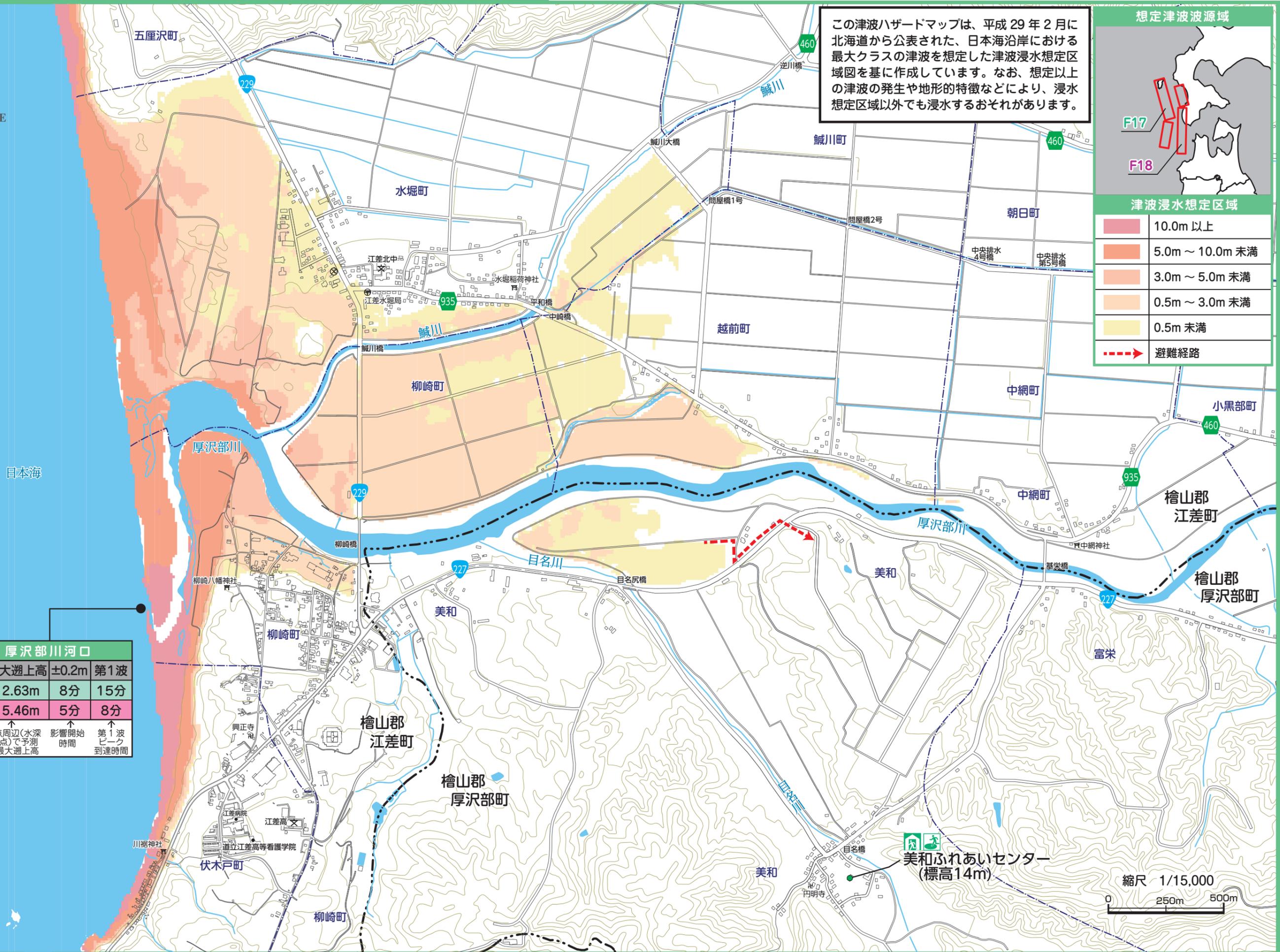
	10.0m 以上
	5.0m ~ 10.0m 未満
	3.0m ~ 5.0m 未満
	0.5m ~ 3.0m 未満
	0.5m 未満
	避難経路

厚沢部川河口			
想定地震	最大遡上高 ±0.2m	第1波	
F17	12.63m	8分	15分
F18	15.46m	5分	8分

↑ 代表地点周辺(水深10m地点)で予測される最大遡上高

↑ 影響開始時間

↑ 第1波ピーク到達時間



縮尺 1/15,000

# わが家の防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。  
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

## 家族の集合場所

氏名	避難所・避難場所	連絡方法

## 家族の連絡先及び医療情報

氏名	続柄	電話番号(自宅・携帯)	電話番号(会社・学校)	生年月日	血液型	医療情報(持病・アレルギー・常備薬)
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

## 緊急連絡先(市外局番0139)

### ●警察

110番

江差警察署 厚沢部駐在所 64-3350  
江差警察署 鶉駐在所 65-6014  
江差警察署 館駐在所 66-2003

### ●火事・救急車 119番

厚沢部消防署 64-3064  
厚沢部消防署 鶉分遣所 65-6051  
厚沢部消防署 館分遣所 66-2073

### ●医療機関

厚沢部町国民健康保険病院 64-3036

### ●厚沢部町役場

64-3311

### ●北海道電力 江差ネットワークセンター

(停電、電柱・電線などの設備に関する問合せ)

0120-06-0914

## 災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります  
「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます



発行 厚沢部町

TEL. 0139-64-3311 FAX. 0139-67-2815

〔測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4 JHs 535-063号〕

JIS Z8210 広域避難場所 避難所(建物) 津波避難ビル 一般注意 津波注意(津波危険地帯)

2025年3月発行